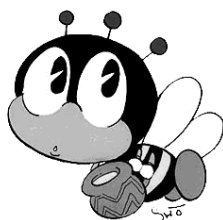
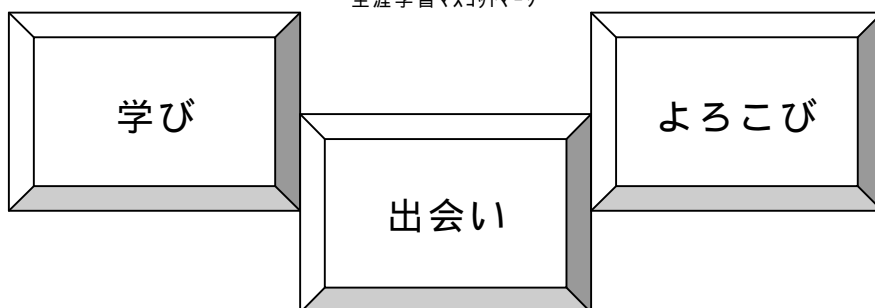


平成26年度

事業報告書



「マナビィ」
生涯学習マスコットマーク



石川県立生涯学習センター

ISHIKAWA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

はじめに

「あらたふと青葉若葉の日の光」(芭蕉)

風薫る五月の葉桜が匂い立つ季節となりました、平成26年度事業報告書をお届けいたします。皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

申すまでもなく生涯学習において、当センターの果たす役割は生涯学習情報の提供や学習相談体制の充実にとどまらず、生涯学習の成果の発表の場として存することにあります。主要事業であります「石川県民大学校」では、193の実施機関において1,132講座を開講し、修了生は同大学校・大学院を合わせて560名となりました。これもひとえに、講座実施機関はじめ関係各位のご理解ご支援の賜と心より感謝申し上げます

事業として、三年目を迎えます「ふるさとモット学び塾」ではさらに工夫、改善しながら、魅力ある「ふるさとふれあい講座」「ふるさと発見出前講座」に取り組んでまいります。

一方、今年度から「ファミリー・カレッジ in 本多の森」として小学生と保護者がともに学び交流できる国際交流員との交歓会、スポーツ・文化等で活躍する方々による交流イベント型講演会さらに著名人による講演会などをご家族で学び楽しめるプログラムを展開してまいります。

「まなびすとルーム」では、マナビィコーナーにおける県民の皆様の作品展示など生涯学習の成果発表、DVD・16ミリフィルム等の貸出、さらに生涯学習に関するご相談や情報提供を行い県民の利便性に応えてまいります。

生涯学び続ける皆様にとっての目標とは何でありましょうか。一人ひとり異なる人生を歩み、価値観もまた多様であります。しかしながら、その中で等しく追求されるものは「幸福な人生」でありましょう。古文献と向き合いながら著者と同化し、その人生に思いを馳せる、何と至福なひとときでありましょう。また後生のために著述を残す、誰の目に触れるかを思わず、黙々と作業に没頭する、司馬遷もしかり村松標左衛門もしかり、何と素晴らしい幸福感に満ちた人生でありましょう。

この報告書は、平成26年度における当センターの事業実施状況をまとめたものです。巻末には調査研究レポートとして(1)「『社会教育主事有資格者の活動実態に関する調査研究』(仮)について」(調査期間：平成26～27年度)、(2)「2年目を迎えた『ふるさとモット学び塾』～深い『いしかわの魅力』の再発見～」を掲載してありますので、併せてご高覧いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、当センターの事業の実施にあたり、ご尽力いただきました関係各機関並びに関係者の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成27年5月

石川県立生涯学習センター
館長 近藤 繁彦

目 次

生涯学習センター	
1 石川県民大学校	
(1) 石川県民大学校のあゆみとしくみ	3
(2) 石川県民大学校の入学状況	4
(3) 石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演会	5
(4) 石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座	6
(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会	8
(6) 石川県民大学校の推移	9
2 講座事業	
(1) ふるさとふれあい講座	11
(2) ふるさと発見出前講座	13
(3) あすなる悠々塾	15
(4) あすなる悠々塾講師養成研修	17
(5) 人権講演会	18
(6) 夏休み子ども映画会	19
(7) 本多の森キッズシアター	19
(8) 本多の森シネマアーカイブ ～秘蔵16ミリ上映講座～	20
(9) 兼六ビデオ講座	21
3 学習情報・教材提供	
(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)	22
(2) まなびすとルーム	23
(3) 視聴覚ライブラリー	23
(4) 16ミリ映画教材提供	24
(5) 生涯学習センターだより(館報)	25
(6) 県民企画展示マナビィコーナー	26
4 指導者養成・研修	
(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)	27
(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)	28
(3) ファシリテーター養成講座	29
(4) 市町生涯学習担当者基礎研修	30
(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会	31
5 兼六園周辺文化の森 ミュージアムウィーク(秋)	32
6 兼六園周辺文化の森 いしかわの伝統にふれる春	34
7 マナビィフェアin本多の森	35
8 他の機関・団体との主催・共催事業	
(1) 生涯学習振興県民フォーラム	36
(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修	37
(3) 社会教育主事等フォローアップ研修	38
(4) 教育事務所管内別生涯学習研修会	39
(5) 視聴覚セミナー	40
(6) 県民映像カレッジ	40
(7) ICT活用講座	41
(8) いしかわビデオ作品コンクール	42
(9) 視聴覚いしかわ(会報)	43
(10) 自主サークル	43
生涯学習センター能登分室	
1 講座事業	
(1) いしかわを知る講座	44
(2) 能登文化講座	44
(3) 古文書手習い塾	45
(4) 古文書解読講座	45
(5) 能登陶芸教室	46
(6) あすなる悠々塾in能登	46
(7) 能登特別映画会	47
(8) ビデオ教養講座(いしかわの文化を訪ねる)	47
(9) 夏休み子ども特別映画会	48
(10) 夏休み子ども陶芸教室	48
(11) 夏休み子ども科学教室	49
2 他の機関・団体との共催講座	
(1) 大人の料理教室	50
(2) 男の料理教室	50
(3) サンドブラスト体験教室	51
3 能登分室利用状況	52
調査研究レポート	
(1) 「社会教育主事有資格者の活動実態に関する調査研究」(仮)について	53
(2) 2年目を迎えた「ふるさとモット学び塾」～深い「いしかわの魅力」の再発見～	54

I 生涯学習センター

1 石川県民大学校

(1) 石川県民大学校のあゆみとしくみ

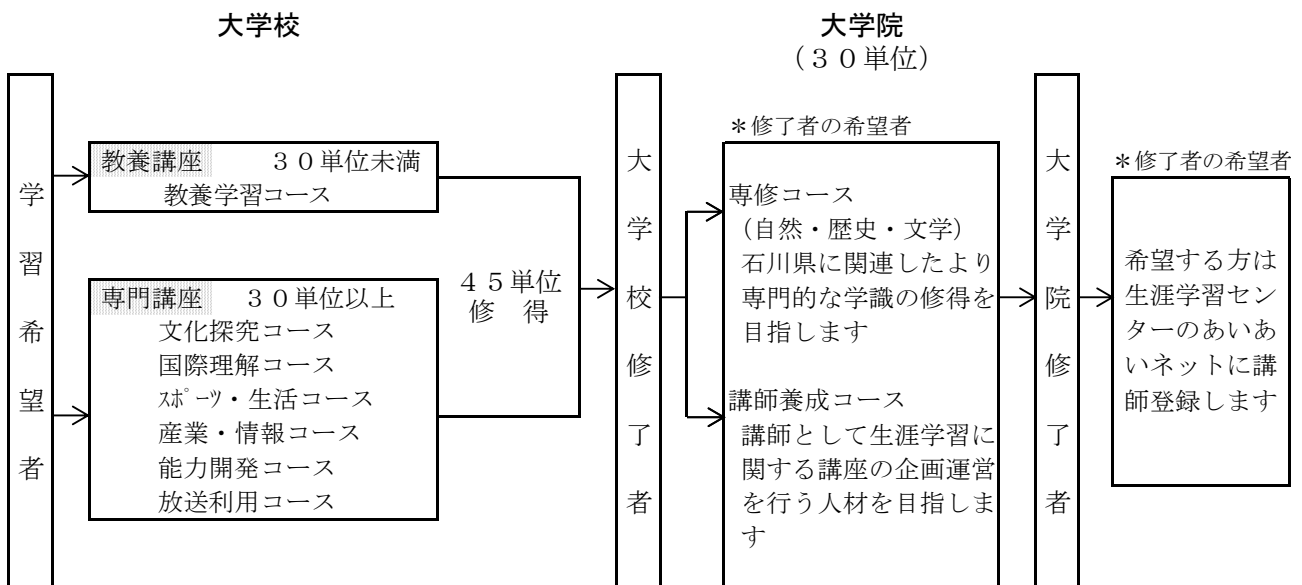
石川県民大学校は平成2年6月に開校し、大学院は平成11年6月に開校。

・講座数の推移

年度	講座数 ()内専門・大学院講座数	年度	講座数 ()内専門・大学院講座数
平成 2年	223 (70)	平成22年	944 (37・4)
平成 3年	274 (78)	平成23年	1,021 (34・4)
平成 4年	290 (89)	平成24年	1,054 (31・4)
平成 5年	313 (98)	平成25年	1,084 (30・4)
平成 6年	321 (103)	平成26年	1,132 (29・4)
平成 7年	331 (111)		
平成 8年	325 (107)		
平成 9年	332 (117)		
平成10年	330 (126)		
平成11年	485 (121・4)		
平成12年	498 (130・4)		
平成13年	504 (114・4)		
平成14年	582 (114・4)		
平成15年	684 (110・4)		
平成16年	739 (88・4)		
平成17年	815 (54・4)		
平成18年	856 (46・4)		
平成19年	904 (45・4)		
平成20年	897 (39・4)		
平成21年	938 (40・4)		



○石川県民大学校入学から修了までのしくみ



(2)石川県民大学校の入校状況(平成26年度)

表1 講座のコース別開設数及び入校者数

講座	コース名	講座数	入校者数
養教	教養学習	1,099	8,700
専門講座	文化探究	6	111
	国際理解	12	133
	ｽｰﾌﾟ・生活	4	9
	産業・情報	0	0
	能力開発	4	202
	放送利用	3	7
	計	29	462
大学院	専修自然・歴史・文学	3	37
	講師養成	1	6
合計		1,132	9,205

表2 地区別入校者割合(%)

地区名	入校者割合
加賀市	0.5
小松市・能美市・能美郡	2.1
白山市・石川郡	8.7
金沢市	62.6
かほく市・河北郡	3.3
羽咋市・羽咋郡	1.8
七尾市・鹿島郡	4.4
輪島市・鳳珠郡	10.4
珠洲市	1.3
不明・県外	4.9
合計	100

表3 年齢・男女別入校者割合

年齢	男(%)	女(%)	合計(%)
19歳以下	0.5	0.4	0.9
20歳～29歳	0.1	0.5	0.6
30歳～39歳	0.3	0.6	0.9
40歳～49歳	0.4	1.6	2.0
50歳～59歳	1.0	3.1	4.1
60歳～69歳	11.3	13.4	24.7
70歳～79歳	19.2	10.7	29.9
80歳以上	4.6	1.7	6.3
不明	13.6	17.0	30.6
合計	51.0	49.0	100

(3)石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演会

趣 旨

石川県民大学校・大学院修了生の努力を讃え、修了証書を交付するとともに、生涯学習に対する県民の意識を高め、学習意欲を喚起する機会とする。

対象・参加者

平成25年度県民大学校・大学院修了生、一般及び講座実施機関の代表者等 219名

会 場

本多の森庁舎会議室

期 日

平成26年5月24日(土) 13:30～15:30

日 程

13:30～14:00	修了証書交付式 平成25年度修了生620名のうち79名(大学校60名、大学院19名)の方に、谷本正憲学長から修了証書が交付された。
14:10～15:30	記念講演 「タマネギと涙の研究でイグノーベル賞をもらいました。」と題して、石川県立大学学長 熊谷英彦氏を講師として記念講演が行われた。

事業の評価(成果・課題)

石川の文化・歴史・自然等を学んだ方々に、学んだ成果として修了証書を交付することにより、学びの気運に満ちた生涯学習社会づくりへの気運を醸成することができた。

記念講演では、石川県立大学学長熊谷英彦氏が、イグノーベル賞受賞のエピソードも交えながら、研究に対する地道な努力の大切さを説かれた。聴講された方からは、研究への情熱に感銘を受けたなどの感想があった。

(4)石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座

趣 旨

石川県の自然・歴史・文学等に関する専門的な学識の修得を目指すとともに、自らが講師となり生涯学習に関する各種講座を企画運営できる人材を養成する。

対 象

石川県民大学校の修了生

期 間

平成26年5月24日(土)～平成27年1月24日(土)

会 場

本多の森庁舎会議室

定 員

講師養成コース 15名

専修コース 60名(自然・歴史・文学の3講座あわせて)

修 了

論文や講座企画書の作成を含む所定の単位修得が必要

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
1	5月24日(土) 13:30～15:30	記念講演「タマネギの研究でイグノーベル賞をもらいました。」(石川県民大学校・大学院修了証書交付式)	石川県立大学学長 熊谷 英彦	219人
2	6月3日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「事件から小説へー水芦光子『双つの顔』ー」	金沢学院大学文学部准教授 薮 際子	16人
3	6月4日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 「関ヶ原合戦前夜における前田利政の動静」	金沢学院大学文学部教授 見瀬 和雄	46人
4	6月6日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「海岸地形に適応した特異的な植生の危機を考える」	石川県立大学非常勤講師 高木 政喜	17人
5	6月10日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「物語論で読む泉鏡花」	金沢学院大学文学部准教授 朝木 敏子	19人
6	6月13日(金) 13:30～15:30	専修コース歴史 「羽釜から見る日本文化と東アジア世界」	金沢学院大学文学部教授 小嶋 芳孝	32人
7	6月13日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「ライチョウと白山高山帯の自然」	元石川県白山自然保護センター次長 上馬 康生	13人
8	6月17日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「恋愛文学のなかの石川」	金沢学院大学文学部教授 水洞 幸夫	18人
9	6月18日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 「加賀藩臣脇田直賢の生涯ー望郷の少年金如鉄のことー」	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	49人
10	6月20日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「サイエンスの目で見る石川の風土と歴史」	金沢大学名誉教授 本浄 高治	18人
11	6月24日(火) 10:00～12:00	専修コース文学 石川県立図書館でのレファレンス	石川県立図書館専門員 鷺澤 淑子 他	5人
12	6月24日(火) 13:30～15:30	専修コース歴史 石川県立図書館でのレファレンス	石川県立図書館専門員 鷺澤 淑子 他	12人
13	6月25日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「プレゼンテーションの基本」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	7人
14	6月27日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 自然史資料館での学習	石川県立自然史資料館館長 水野 昭憲 他	2人
15	7月1日(火) 13:30～15:00	専修コース・講師養成コース 「論文作成講座」	金沢学院大学文学部教授 見瀬 和雄	26人

番号	日時	内容(演題)	講師	参加者数
16	7月9日(水) 13:30~15:30	講師養成コース 「広報伝達について」	(有)ブレンオアシス編集長 金子 伸樹	3人
17	7月16日(水) 13:30~15:30	講師養成コース 「講師のためのIT活用術」	オフィスアシスタ代表 山川 広美	3人
18	7月23日(水) 13:30~15:30	講師養成コース 「スピーチプレゼンテーションの技法」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	2人
19	9月30日(火) 13:30~15:30	専修コース文学・歴史 試論指導	論文指導講師	10人
20	10月1日(水) 13:30~15:30	専修コース歴史 試論指導	論文指導講師	3人
21	10月2日(木) 13:30~14:30	専修コース歴史 試論指導	論文指導講師	2人
22	10月3日(金) 13:30~15:30	専修コース歴史・自然 試論指導	論文指導講師	5人
23	11月4日(火) 13:30~15:30	専修コース文学・歴史 論文指導	論文指導講師	10人
24	11月5日(水) 13:30~15:30	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	3人
25	11月7日(金) 13:30~15:30	専修コース歴史・自然 論文指導	論文指導講師	5人
26	11月11日(火) 13:30~15:30	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	3人
27	10月15日(水) 13:30~14:30	講師養成コース 企画書作成指導	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	3人
28	11月26日(水) 13:30~15:30	講師養成コース 企画講座発表会	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	3人
29	1月24日(土) 13:30~15:40	「石川の博士」論文発表会 記念講演「血流美人を目指して」	金沢医科大学 総合内科学 准教授 赤澤 純代	63人
合 計				617人

1~10及び29の講座については、一般の方に開放している講座。

事業の評価(成果・課題)

講師の先生方のきめ細かい論文指導により、修了生26名の研究成果を「石川の博士」論文集としてまとめることができた。来年度は、受講生がより円滑に論文作成ができるよう、専修コース・講師養成コースの講座内容や指導体制を充実させることとする。

また、一般の方に開放している専修コースの基本講座については、より積極的に広報を行うことにより、受講者数の拡大を図りたい。

(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会

趣 旨

石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座修了者の代表がその学習成果を発表するとともに、記念講演をとおして県民大学校の大学院の一層の充実を図る。

日 時

平成27年1月24日(土) 13:30~15:40

会 場

本多の森庁舎会議室

対象・参加者

平成26年度石川県民大学校大学院受講生及び一般 63名

日 程

13:30~14:30	論文発表 「人と関わる「ちから」を育む講座～笑顔からはじまるコミュニケーション～」 講師養成コース代表 丸谷 彩宥美 「松金馬車鉄道と沿線の鉄道体系(4) ～金沢電気軌道との合併から廃線へ～」 専修コース歴史代表 脇水 達生 「海浜植物の植生変化と経済活動 - 白尾海岸の海浜植物の調査から -」 専修コース自然代表 武部 剛 「世阿弥の能楽書の中の実盛を探る～篠原の池水の創案～」 専修コース文学代表 岸端 敏幸
14:40~15:40	記念講演 「血流美人を目指して」 金沢医科大学 総合内科学 准教授 赤澤 純代

事業の評価(成果・課題)

今年度大学院を修了した4名による発表はよくまとまっており好評であった。記念講演も、健康的な食生活の話にはじまり、元気に生きることの教訓など生き方についても触れ、興味深い内容であった。聴講された方からいくつかの質問もあがるなど、生涯にわたる健康な生き方への興味・関心がさらに高まった講演となった。

(6) 石川県民大学校の推移

表1 講座数の推移

(単位:講座)

年 度		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
大 学 校	教 養 講 座 計	854	894	903	983	1,019	1,050	1,099
	文化探求コース	9	9	9	9	8	7	6
	国際理解コース	11	11	11	12	12	12	12
	スポーツ・生活コース	12	12	9	4	4	4	4
	産業・情報コース	1	1	2	1	1	0	0
	能力開発コース	3	4	3	5	3	4	4
	放送利用コース	3	3	3	3	3	3	3
	専 門 講 座 計	39	40	37	34	31	30	29
	大 学 校 計	893	934	940	1,017	1,050	1,080	1,128
大 学 院	専修コース	3	3	3	3	3	3	3
	講師養成コース	1	1	1	1	1	1	1
	石川の博士養成講座 計	4	4	4	4	4	4	4
合 計		897	938	944	1,021	1,054	1,084	1,132

表2 実施機関数及び講座数

(単位:機関・講座)

実 施 機 関	年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	講座数							
国 立 機 関	機 関 数	3	3	4	3	5	3	2
	講 座 数	36	56	54	52	39	60	35
知 事 部 局 等	機 関 数	32	33	31	31	30	33	30
	講 座 数	172	182	166	185	187	191	206
県 立 学 校	機 関 数	53	57	54	52	52	34	22
	講 座 数	53	57	55	53	52	35	26
県 教 委	機 関 数	14	13	12	12	12	12	12
	講 座 数	143	155	163	178	186	206	212
県 機 関 計	機 関 数	99	103	97	95	94	79	64
	講 座 数	368	394	384	416	425	432	444
市 町 村 教 委	機 関 数	37	38	34	37	50	58	65
	講 座 数	137	140	127	154	202	230	274
各 種 法 人	機 関 数	38	45	38	38	41	41	44
	講 座 数	232	219	238	272	260	246	260
各 種 団 体	機 関 数	19	25	24	19	19	20	18
	講 座 数	124	129	141	127	128	116	119
合 計	機 関 数	196	214	197	192	209	201	193
	講 座 数	897	938	944	1,021	1,054	1,084	1,132

表3 入校者数の推移

(単位：人)

年 度		H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	合計
大 学 校	教養講座 計	7,157	6,974	7,255	6,970	7,279	6,859	8,700	90,179
	文化探究コース	307	310	294	299	347	209	111	12,168
	国際理解コース	159	186	121	167	172	179	133	8,603
	スポーツ・生活コース	1	12	20	0	0	33	9	8,132
	産業・情報コース	2	3	8	0	0	0	0	4,482
	能力開発コース	71	113	61	123	78	172	202	7,151
	放送利用コース	4	5	0	4	2	1	7	1,457
	専門講座 計	544	629	504	593	599	594	462	41,993
大 学 院	専修コース	111	80	71	86	77	57	37	1,606
	講師養成コース	23	21	17	15	10	14	6	375
	石川の博士養成講座 計	134	101	88	101	87	71	43	1,981
合 計		7,835	7,704	7,847	7,664	7,965	7,524	9,205	134,153

大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表4 修了者数の推移

(平成27年3月末現在)

(単位：人)

年 度		H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	合計
大 学 校	教養講座 計	249	213	204	262	260	197	308	3,009
	文化探究コース	181	197	184	203	190	264	111	4,354
	国際理解コース	50	36	64	42	90	90	71	1,953
	スポーツ・生活コース	1	4	7	1	0	33	9	1,781
	産業・情報コース	1	3	8	7	2	0	0	641
	能力開発コース	75	87	63	20	26	0	35	3,631
	放送利用コース	1	2	1	2	2	1	0	45
	専門講座 計 (コース重複)	309 (0)	328 (1)	326 (1)	275 (0)	310 (0)	388 (0)	226 (0)	11,813 (592)
大 学 院	専修コース	34	17	26	25	25	30	23	482
	講師養成コース	6	6	5	5	2	5	3	159
	石川の博士養成講座 計	40	23	31	30	27	35	26	641
合 計		598	564	561	567	597	620	560	15,463

大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表5 年代別修了生数

(平成26年度修了生の内訳)

(単位：人)

大学校(院)	年 代	19歳 以下	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	不明	計
大 学 校	男 性(人)	0	1	1	2	9	64	97	24	50	248
	女 性(人)	0	0	12	16	25	93	61	8	71	286
大 学 院	男 性(人)	0	0	0	0	0	4	11	1	0	16
	女 性(人)	0	0	0	5	1	3	0	1	0	10
合 計	人 数(人)	0	1	13	23	35	164	169	34	121	560
	割 合(%)	0.0	0.2	2.3	4.1	6.3	29.3	30.2	6.1	21.6	100

構成割合については、四捨五入しているため100%にならない場合がある。

2 講座事業

(1) ふるさとふれあい講座

趣 旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、専門家による石川の文化・歴史・自然等をテーマとした講座を実施する。本多の森庁舎を会場に行う10回の講座（「本多の森会場」）と景勝地・史跡・偉人ゆかりの地等を巡回する5回の講座（「現地コース」）を実施する。

本多の森会場

対象・定員

一般 130名

会 場

本多の森庁舎 第二会議室

日 程

番号	日 時	演 題	講 師	参加人数
1	7月19日(土) 13:30～15:00	明治以降の前田家	一般社団法人霞会館常務理事 (前田家第18代当主) 前田 利祐	164人
2	8月8日(金) 13:30～15:00	加賀屋の流儀 ～おもてなしの心～	株式会社加賀屋相談役 小田 禎彦	129人
3	8月22日(金) 13:30～15:00	世界農業遺産と能登の可能性	金沢大学地域連携推進センター 特任教授 宇野 文夫	116人
4	9月7日(日) 13:30～15:00	加賀・能登の民謡にふれる	金沢市民謡協会副会長 伊崎 八郎	98人
5	9月19日(金) 13:30～15:00	金沢の金箔の伝統と革新	株式会社箔一代表取締役会長 浅野 邦子	120人
6	10月10日(金) 13:30～15:00	石川の漆文化と輪島塗	石川県輪島漆芸美術館館長 四柳 嘉章	110人
7	10月19日(日) 13:30～15:00	舳倉島の歴史 ～海女に見る海民の世界～	金沢学院大学教授 小嶋 芳孝	80人
8	11月1日(土) 13:30～15:00	南北朝内乱と北加賀の合戦	金沢学院大学特任教授 東四柳 史明	101人
9	11月14日(金) 13:30～15:00	金沢のお茶屋文化	国指定重要文化財「志摩」館長 島 謙司	104人
10	11月28日(金) 13:30～15:00	サムライたちの異国見聞録 ～海外へ雄飛した加賀藩士～	元石川県立歴史博物館館長 徳田 寿秋	115人
合 計				1,137人

現地コース

対象・定員

一般 35名

日程

番号	日時	演題	講師	参加人数
1	9月10日(水) 8:30~17:00	木曾義仲と倶利伽羅合戦の地を訪ねて	金沢学院大学特任教授 東四柳 史明	35人
2	9月27日(土) 8:30~17:00	芭蕉が歩いた加賀路を訪ねて	金沢学院大学教授 柳澤 良一	35人
3	10月 8日(水) 8:30~17:00	古代能登の王墓と寺跡を訪ねて	石川考古学研究会会長 谷内尾 晋司	35人
4	11月25日(土) 8:30~17:00	九谷焼発祥の街を訪ねて	石川県九谷焼美術館副館長 中矢 進一	34人
5	11月 8日(土) 8:30~17:00	前田利家と妙成寺・山の寺寺院群を訪ねて	金沢学院大学特任教授 東四柳 史明	35人
合 計				174人

事業の評価(成果・課題)

「本多の森会場」については、定員を昨年度(100名)より増やし、130名とした。100名以上の受講者が集まった回は8回(うち1回は、定員を超える)、90名台・80名台が各1回で、定員に対する平均受講率は、87.5%(昨年89.5%)となった。受講者総数は、昨年度(895名)よりも242名多い1,137名となった。講座の内容については、アンケートの「満足・やや満足」の合計が95.6%と大変好評で、昨年(87.2%)と比較しても、非常に良い成果を得ることができた。

「現地コース」については、昨年度の受け入れと同数の35名を定員とした。昨年度は荒天のため、参加者の当日キャンセルや行程変更が生じたが、今年度は全ての回が天候に恵まれ、1名欠席の講座が1回あったほかは、35名全員が出席された。受講可能人数175名(35名×5回)を大きく超える543通の申込みをいただいた。昨年度(424通)と比べても、多くの申込みをいただき、現地コース実施の周知と高い関心をいただいた。しかし、その結果、当選確率が昨年(41.2%)よりも低い32.2%となり、今年度は1回も当選できなかった方が若干出てしまった。講座の内容については、アンケートの「興味が持て、参考になる内容だった」の項目について「とても良かった」、「良かった」が98.8%(昨年度97.3%)と、より深い学びの場を提供することができた。

全体として、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができたと考えられる。

来年度については、受講者からの要望に応えつつ、テーマ・講師の選定とともに、より興味・関心を持っていただける広報等を工夫していきたい。

(2) ふるさと発見出前講座

趣 旨

子どもから大人まで県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、小中学校や公民館において石川の文化・歴史・自然等をテーマとした出前講座を実施する。

対象・定員

小中学校：児童・生徒 30名以上 小学校は4年生以上

公民館：一般 20名以上

日 程

小中学校(15校)

番号	日 時	学 校(学年)	演 題	講 師	参加人数
1	7月8日(火) 14:45～15:30	金沢市立 大野町小学校(5)	石川の海洋生物	石川県立自然史資料館協力専門員 佐野 修	32人
2	7月9日(水) 13:45～14:35	輪島市立 門前中学校(1～3)	里山里海の保全：世界農業遺産	金沢大学能登里山里海博士研究員 伊藤 浩二	89人
3	7月11日(金) 10:35～12:15	小松市立 中海小学校(6)	石川の生き物たち ～野生鳥獣の保護と動物園の仕事～	いしかわ動物園職員 山本 邦彦	30人
4	9月3日(水) 9:30～10:15	金沢市立 粟崎小学校(5)	加賀野菜について	北形青果株式会社取締役 北形 謙太郎	86人
5	9月16日(火) 13:50～14:40	金沢市立 長田町小学校(6)	加賀百万石と前田家	観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	42人
6	10月3日(金) 13:40～14:40	小松市立 芦城中学校(1.2)	石川食のブランド化	石川県農林水産部生産流通課 流通販売グループ課長補佐 葛城 正浩	170人
7	10月7日(火) 14:25～15:15	小松市立 松陽中学校(1)	加賀百万石と前田家 小松との関係	観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	245人
8	11月5日(水) 14:00～15:00	羽咋市立 余喜小学校(4～6)	「邑知潟」と「よき」の歴史 ～小学校から見えた古代と江戸時代の風景～	郷土史家 今井 淳一	50人
9	11月18日(火) 10:40～11:25	金沢市立 木曳野小学校(4)	伝統工芸のさかんな金沢の町づくり ～金沢漆器～	金沢漆器伝統工芸士 村田 百川	154人
10	11月26日(水) 13:50～14:35	小松市立 那谷小学校(3.4)	石川の陶芸	九谷焼伝統工芸士 美山 富子	7人
11	12月2日(火) 10:40～11:25	野々市市立 御園小学校(4)	石川の伝統文化 和太鼓	浅野太鼓文化研究所 岡田 千里、田村 泰子	105人
12	12月4日(木) 9:35～10:20	金沢市立 三馬小学校(4)	金沢の偉人 ～三文豪を知ろう～	石川近代文学館学芸員 奥田 知穂	130人
13	1月20日(火) 9:30～10:15	金沢市立 十一屋小学校(4)	石川の伝統工芸 輪島塗、九谷焼	九谷焼伝統工芸士 井出 幸子 輪島伝統工芸士会会長 北濱 幸作	66人
14	1月29日(木) 10:40～11:25	金沢市立 泉野小学校(4)	石川の焼き物 九谷焼	九谷焼伝統工芸士 平野 由佳	94人
15	1月30日(金) 11:00～12:00	金沢市立 四十万小学校(4)	九谷焼についてのお話	九谷焼伝統工芸士 打田 幸生	66人
合 計					1,366人

公民館(18館)

番号	日 時	公民館	演 題	講 師	参加人数
1	7月20日(日) 5:00～7:00	珠洲市 上戸公民館	親子早朝上戸知ろう会	上戸知ろう会 櫻井 重行	17人
2	8月10日(日) 9:00～10:30	金沢市 味噌蔵町公民館	子供自然観察会 川でアユとりをして遊ぼう	味噌蔵町公民館 青少年部長 岩崎 昌之 視聴覚部長 紋谷 真佐人	荒天 中止
3	9月6日(土) 19:30～21:00	かほく市 教育委員会 生涯学習課	夏の大三角をさがそう!	能登町教育委員会事務局主幹 室石 英明	19人
4	9月12日(金) 19:30～21:00	金沢市 薬師谷公民館	加賀百万石の成り立ちと前田家	郷土史家 屋敷 道明	29人
5	9月14日(日) 13:30～15:00	七尾市 御祓公民館	前田利家と能登・七尾	七尾市教育委員会文化課課長補佐 和田 学	50人
6	10月9日(木) 13:30～15:30	金沢市 城南公民館	日台関係史と磯田謙雄技師	磯田謙雄技師ブックレット編集委員長 前川 哲朗	103人
7	10月21日(火) 13:30～15:30	羽咋市 千里浜公民館	藩政期能登における海難と “ちりはま”のこと	生涯学習センター能登分室職員 南 龍保	38人
8	10月24日(金) 13:30～15:30	輪島市 浦上公民館	藩政期能登における海難につ いて	生涯学習センター能登分室職員 南 龍保	29人
9	10月26日(日) 9:30～12:30	野々市市 野々市公民館	親子食育講座 秋・実りの秋を感じよう ～昆布のUMAMIと旬の野菜～	日本昆布協会昆布大使 菊地 代緒恵	19人
10	10月26日(日) 10:00～11:30	金沢市 田上公民館	紙芝居 「金沢よいとこいつでもおいで」他	かなざわ紙芝居倶楽部 森 常栄	70人
11	11月22日(土) 13:00～14:30	野々市市 野々市公民館	加賀一向一揆とその時代 於)鳥越一向一揆歴史館	金沢学院大学特任教授 東四柳 史明	30人
12	1月24日(土) 13:30～15:00	輪島市 鳳至公民館	江戸時代の輪島あれこれ	生涯学習センター能登分室職員 左古 隆	33人
13	2月7日(日) 13:30～15:00	輪島市 鳳至公民館	江戸時代の輪島あれこれ	生涯学習センター能登分室職員 左古 隆	36人
14	2月14日(土) 13:30～15:00	能登町 小間生公民館	久田和紙の秘密	金沢学院大学院生 寺口 学 瀧澤 真由美	22人
15	2月15日(日) 10:00～13:00	金沢市 内川公民館	雪と遊ぼうイン内川	白峰の雪の達人 山口 幸一	53人
16	2月20日(金) 19:00～20:30	宝達志水町 公民館	スター・ウォッチ 星空観察会	柳田星の観察館「満天星」学芸員 宇佐美 拓也	40人
17	2月22日(日) 14:00～15:30	野々市市 郷公民館	県産農林水産物の ブランド化について	石川県農林水産部生産流通課 流通販売グループ課長補佐 葛城 正浩	36人
18	3月14日(土) 19:30～21:00	加賀市 大聖寺公民館	大聖寺の観光まちづくり ～住民の意識調査より～	金沢大学人間社会学域地域創造学類 教授 山岸 雅子	25人
合計					649人

事業の評価(成果・課題)

出前講座の実施により、小中学校の児童・生徒や当センターから遠方に居住する方など、幅広い世代や広い地域の方々に石川の魅力を学ぶ機会を提供することができた。アンケートからは、講師・講義内容などについて高い評価を受けた。小中学校については、定数の15件を超える申込みがあり、出前講座の実施が周知されてきている。しかし、公民館については定数の20件に達せず、課題が残る。実施施設からは、今後とも続けて利用したいという声も多い。来年度は予算の関係から、公民館についての実施を10件とするが、一層の周知徹底を工夫し、「子どもから大人まで県民一人ひとり」へのふるさと学習の機会を広げていきたい。

(3)あすなる悠々塾

趣 旨

県民の生涯学習支援という観点から、広く一般の方を対象に、生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講座の講師となる機会を提供し、その成果が社会に生かされることを目指す。

参加対象・定員

一般 30名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月24日(土) 13:00～14:30	生活講座 「市民はどんな税金を納めているか？」	谷川 克己	15人
2	5月27日(火) 13:30～15:30	生活講座 「グランパ、グランマの子育て講座～出番です！祖父母世代～」	水島 栄美子	9人
3	6月 2日(月) 13:30～15:30	歴史講座 「邪馬台国のすべて」①	堀川 惇夫	39人
4	6月 3日(火) 13:30～15:30	歴史講座 「 ” ” ②		26人
5	6月 7日(土) 13:30～15:00	歴史講座 「国宝「松林図屏風」に霊峰白山をみる」	後藤 朗	26人
6	6月10日(火) 13:30～15:00	人生講座 「自分をよりよく知って、人と上手に付き合おう！」	塚本 茂樹	23人
7	6月13日(金) 10:00～12:00	健康講座 「楽しく学ぶ、やさしい心理学」①	山本 紀子	20人
8	6月16日(月) 10:00～11:30	歴史講座 「現代の石川に見る右近の影響」	竹下 知子	36人
9	6月21日(土) 13:30～15:00	文化講座 「こんな時にはどんな色？」	岩森 陽子	9人
10	6月27日(金) 10:00～12:00	健康講座 「楽しく学ぶ、やさしい心理学」②	山本 紀子	18人
11	6月28日(土) 13:00～14:30	歴史講座 「ふるさとの謎を探る 加賀藩歴史物語」①	中田 廉子	56人
12	6月28日(土) 14:50～16:20	健康講座 「定年後テーマと東海道五十三次！ウォーキングのすすめ」	植茶 泰男	35人
13	6月30日(月) 10:00～11:30	文化講座 「石川に伝わる伝統芸能が和食に与える影響」	竹下 知子	26人
14	7月 2日(水) 13:30～15:00	生活講座 「北陸の景気は良くなっているか？」	谷川 克己	22人
15	7月 4日(金) 13:30～15:00	歴史講座 「ふるさとの謎を探る 加賀藩歴史物語」②	中田 廉子	64人
16	7月30日(水) 13:30～15:00	人生講座 「知っ得！セカンドライフ満喫塾H26年版」	石川 肇	25人

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
17	9月20日(土) 13:30～15:00	生活講座 「意外と知らないお金の雑学」	石川 肇	7人
18	9月29日(月) 13:30～15:30	人生講座 「石川県の偉人 日本社会福祉の祖 小野太三郎の福祉の心」	小坂 與繁	15人
19	10月 2日(木) 10:00～11:30	文化講座 「伝統邦楽入門～三味線音楽の楽しみ～」	金田 晃	10人
20	10月 4日(土) 13:30～15:30	生活講座 「目指せイキイキ家族～家族関係を考える～」	安東 崇	8人
21	10月 7日(火) 13:30～15:00	環境講座 「食卓から見た食糧(農業)・エネルギー問題」	西本 崇之助	10人
22	10月11日(土) 13:30～15:30	健康講座 「骨盤のゆがみと健康について」	藤井 隆伸	14人
23	10月15日(水) 13:30～15:00	文化講座 「北陸線の電化と新幹線」	下田 敬一	32人
24	10月18日(土) 13:00～14:30	歴史講座 「奇跡の人ヘレン・ケラー女史が金沢来訪で訴えたこと」	北村 徹雄	16人
25	10月18日(土) 14:50～16:20	自然講座 「日本海の食用エビ・カニ類」	本尾 洋	9人
26	10月21日(火) 13:30～15:00	環境講座 「食卓から見た食糧(農業)・エネルギー問題」	西本 崇之助	9人
27	10月27日(月) 13:30～15:00	健康講座 「セルフケアでイキイキ輝く 私発見！」	上野 さなみ	11人
28	11月 1日(土) 10:00～11:30	歴史講座 「能登守・加賀守の歴史について」	後藤 朗	27人
29	11月11日(火) 13:30～15:00	人生講座 「熟年からの第2のステージ、地域社会で活かそうエンパワーとは！」	菅村 美知子	8人
30	11月15日(土) 13:30～15:00	健康講座 「キレイの素は骨盤にあり！」	酒井 彰子	9人
31	11月18日(火) 13:30～15:00	文化講座 「学校で教えない、おもちゃの由来、歴史」	鈴木 清人	2人
合 計				636人

事業の評価(成果・課題)

この事業は、受講者も講師も共に成長していける講座として定着しつつある。今年度は講師24名による31講座を開講することができ、後期は天候不順もあり出足が悪かったが、受講者総数は636人と最大となった。「まなびすとルーム」を主な会場とすることで、開かれた講座を意識できた。講師との連絡を密にして運営の支援をできる限りしてきた。受講者アンケートを見ると、講座内容や、資料の扱い、機器の使用、発表の仕方と多岐にわたっての指摘が多かった。

今後は講座内容について事前に講師との打ち合わせを行うなどの工夫が必要である。

(4) あすなる悠々塾講師養成研修

趣 旨

生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講師となる「あすなる悠々塾」において、次年度の講師となることができるよう、その資質の向上を目指す。

応募者、修了者

応募者4名、修了者1名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容	講 師		参加者	
1	6月25日(水) 13:00～15:30	開講式 講師基本1 プレゼンテーションの基本	金城大学短期大学部 教授 岡野 絹枝	必修	4人	
2	7月9日(水) 13:30～15:30	講師基本2 広報伝達について	(有)ブレインオアシス 編集長 金子 伸樹	選択 ※2,3の の中から 1つ選び ます	0人	
3	7月16日(水) 13:30～15:30	講師基本3 講師のためのIT活用術	オフィスアシスタ 代表 山川 広美		3人	
4	7月23日(水) 13:30～15:30	講師基本4 スピーチプレゼンテーションの技法	金城大学短期大学部 教授 岡野 絹枝	必修	4人	
5	平成26年度「あすなる悠々塾」聴講 ※「あすなる悠々塾」講座⑰～㉑の中から1つ以上選んでください。				選択	2人
	9月20日(土)	あすなる悠々塾⑰	意外と知らないお金の雑学			
	9月29日(月)	〃 ⑱	石川県の偉人 日本社会福祉の祖 小野太三郎の福祉の心			
	10月2日(木)	〃 ⑲	伝統邦楽入門～三味線音楽の楽しみ～			
	10月4日(土)	〃 ⑳	目指せ!!イキイキ家族～家族関係を考える			
	10月7日(火)	〃 ㉑	食卓から見た食糧(農業)・エネルギー問題			
	10月21日(火)	〃 ㉒	①②			
	10月11日(土)	〃 ㉓	骨盤のゆがみと健康について			
	10月15日(水)	〃 ㉔	北陸線の電化と新幹線			
	10月18日(土)	〃 ㉕	奇跡の人 ヘレン・ケラー女史が金沢来訪で訴えたこと			
	10月18日(土)	〃 ㉖	日本海の食用エビ・カニ類			
	10月27日(月)	〃 ㉗	「セルフケアでイキイキ輝く私発見!			
	11月1日(土)	〃 ㉘	能登守・加賀守の歴史について			
	11月11日(火)	〃 ㉙	熟年からの第2のステージ、地域社会で活かそうエンパワーとは!!			
11月15日(土)	〃 ㉚	キレイの素は骨盤にあり!				
11月18日(火)	〃 ㉛	学校で教えない、おもちゃの由来、歴史				
6	11月25日(火) 13:30～16:00	企画書発表会、終了式		必修	1人	

事業の評価(成果・課題)

今年度は、受講生4人が応募したが修了生は1人であった。来年度は、PRの工夫や受講生との意思疎通に努めるなど改善していきたい。

(5) 人権講演会

趣 旨

社会教育における人権教育活動の一環として人権尊重の理念について、県民の理解を深めるとともに、人権意識を高めていくための学習機会を提供する。

対象・定員

一般及び公民館職員研修受講者 定員 100名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
6月26日(木) 13:00~14:30	人権講演会 演 題 「ぼけ」でも心は生きている	(公社)認知症の人と家族の会 代表理事 高見 国生	105人

(注) 参加人数内訳：一般50人、公民館職員基礎研修28人、公民館職員専門研修27人

事業の評価(成果・課題)

「我国は4人に1人が65歳以上の老人で、高齢化に伴い認知症患者と予備軍が増加している。本人と介護する家族の苦悩や負担は計り知れず体験した者でなければ分からない。認知症を抱える家族が介護の知恵を得たり、励まし合う等の交流ができる全国組織をつくり、国へ窮状を訴え介護制度の改善を働きかけ、家族として温かい介護が出来る社会を目指し活動している」との講演主旨であった。

次年度も身近に起こりうる人権問題をテーマとして人権意識の高揚につながる講演会を工夫する。

(6) 夏休み子ども映画会

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

幼児、小学生及び保護者 200名

会 場

石川県立美術館ホール

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	7月30日(水) 13:30~15:30	「かくや姫/鬼の妹/まんじゅうこわい」、「雨降り小僧」、 「おじゃる丸 ちっちゃいもの大きなちから」、「がんばれスイミー」	172人
2	7月31日(木) 13:30~15:30	「魔女の宅急便」	194人
合 計			366人

事業の評価(成果・課題)

市内の児童クラブ、保育園等の団体鑑賞や、家族での鑑賞など、多数の県民の参加を得た。臨場感ある大画面での上映は、子どもたちに大変好評であった。また児童クラブ等においては、個人で過ごすことの多い夏休みにおいて、団体行動を行う良い機会となっているようである。

来年度も多くの参加者が鑑賞しやすいよう、上映作品の選定や上映方法に工夫を凝らすとともに、引き続き鑑賞に適した同会場の利用を検討したい。

(7) 本多の森キッズシアター

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

幼児、小学生及び保護者 40名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	8月7日(木) 14:00~15:30	「よっちゃんの不思議なクレヨン」、「彦一とんち話」、 「けるけるハウスのひみつ ここは...30年前のけるける村」	19人
2	8月11日(月) 10:00~11:30	「ムーミン」、「がんばれスイミー」	14人
3	8月11日(月) 14:00~15:30	「雨降り小僧」、「おじゃる丸 ちっちゃいもの大きなちから」、 「サヨナラ、みどりが池」	10人
4	8月21日(木) 10:40~12:10	[追加上映] 「ムーミン」、「がんばれスイミー」	59人
5	8月21日(木) 14:00~15:30	「ミームいろいろ夢の旅 空を駆ける兄弟(ライト兄弟)」、 「かんずけさんとふしぎな自転車」、「2112年ドラえもん誕生」	52人
6	3月25日(水) 10:00~11:30	[追加上映] 「北かぜとおひさま/やせたオオカミ」、「ちいさなジャンボ」、 「あらいぐまラスカル」	84人
7	3月25日(水) 13:30~15:00	「北かぜとおひさま/やせたオオカミ」、「ちいさなジャンボ」、 「あらいぐまラスカル」	86人
8	3月26日(木) 10:00~11:30	[追加上映] 「ピノキオ」	45人
9	3月26日(木) 13:30~15:00	「ピノキオ」	48人
合 計			417人

事業の評価(成果・課題)

今年度新たに実施することとなった事業で、上映は当センター内で行った。また広報は「夏休み子ども映画会」同様、公民館等社会教育施設のほか、金沢市内の学童クラブ、幼稚園・保育園に対しても行った。

8月実施の回については、前半の回は広報から実施まであまり時間が無かったため参加人数が少なかったものの、ある程度周知が行き届いた後半の回は追加上映を行う人数の参加を得た。また広報の期間に余裕のあった3月実施の回については、定員を大幅に超える参加を得た。

参加者の多くは児童クラブ・幼稚園・保育園等の団体であり、休業期間中の行事としてニーズに合致したため多数の参加を得たものと思われる。これらのニーズに答えるため、引き続き次年度以降の実施を検討したい。

(8) 本多の森シネマアーカイブ ～秘蔵16ミリ上映講座～

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵する貴重な16ミリ映像教材を活用し、体験することが難しくなりつつある映写機によるフィルム上映の味わいととも、過去の自然文化、歴史、人権、芸術等を学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容(演題)	参加人数
1	6月16日(月) 14:00～16:00	「第2次世界大戦の記録 1 再び近づく戦争の足音」、 「彫る 棟方志功の世界」、 「勸進帳」	30 人
2	7月16日(水) 14:00～16:00	「第2次世界大戦の記録 2 激動のアジアとヨーロッパ」、 「山雲涛声 東山魁夷 唐招提寺障壁画の記録」、 「能観賞の知識」	28 人
3	9月16日(火) 14:00～16:00	「第2次世界大戦の記録 3 日米開戦へ」、 「利休の茶」、 「狂言」	34 人
4	12月16日(火) 14:00～16:00	「第2次世界大戦の記録 4 連合軍に勝機」、 「日本の美・日光東照宮」、 「尾口のでくまわし」	22 人
5	1月16日(金) 14:00～16:00	「第2次世界大戦の記録 5 日本帝国の崩壊」、 「国宝 源氏物語絵巻」	22 人
合 計			136 人

事業の評価(成果・課題)

過去の記録や歴史資料など、貴重な映像を県民の方々に見ていただけた。他では見ることの出来ない映像の数々であり、貴重な体験をしていただけたと思う。

また、近年映画館も含め、フィルム上映が行われる機会が激減している中で、映写機による上映を体験する機会を県民に持ってもらうことは、映像文化の面からも非常に重要であると思われる。

フィルムライブラリーを有する当センターが、今後ともこの重要な責を担っていく必要がある。

(9) 兼六ビデオ講座

趣 旨

石川県立生涯学習センター視聴覚ライブラリーが所蔵するビデオ教材を活用し、映像を通して本県を含め幅広く我が国の歴史や文化について学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)			参加人数
		いしかわ大百科	石川の記録映画	日本俳句紀行 /古典名作撰	
1	5月20日(火) 14:00～16:00	石川の歴史に翔けた人々③ 前田慶次 天下御免の傾奇者	加賀	日本俳句紀行 春 1	36 人
2	6月 3日(火) 14:00～16:00	" ④ 丹羽長重 北陸で波乱の人生を生きた武将	能登	" 春 2	34 人
3	6月24日(火) 14:00～16:00	" ⑤ 富樫高家 中世加賀を作った富樫家とその一族	石川の仏壇	" 春 3	30 人
4	7月 8日(火) 14:00～16:00	加賀藩創世記ものがたり① 府中三人衆 友との戦い	九谷焼	" 夏 4	27 人
5	7月25日(金) 14:00～16:00	" ② 金沢御堂陥落 一向衆の最後	山中漆器	" 夏 5	31 人
6	8月 4日(月) 14:00～16:00	" ③ 藩祖利家 金沢城入城	輪島塗	" 夏 6	30 人
7	8月19日(火) 14:00～16:00	" ④ 徳川か、豊臣か 利長の決断	金沢漆器	" 秋 7	29 人
8	9月 5日(金) 14:00～16:00	" ⑤ 加賀百万石のいしずえ	加賀蒔絵	" 秋 8	24 人
9	9月26日(金) 14:00～16:00	百万石を支えた男たち① 忠臣の荒子衆 村井長瀬	加賀獅子頭	" 秋 9	30 人
10	10月14日(火) 14:00～16:00	" ② キリシタン大名 高山右近	紙漉く里 -その心と美-	" 冬10	17 人
11	11月11日(火) 14:00～16:00	" ③ 加賀の三貞 有沢一家	加賀友禅	" 冬11	21 人
12	11月25日(火) 14:00～16:00	" ④ 十万石の家臣 本多政重	金沢港	" 冬12	22 人
13	12月 9日(火) 14:00～16:00	" ⑤ 加賀騒動と前田土佐守直躬	手取川ダム -手取川総合開発記録-	古典名作撰 伊勢物語	24 人
14	1月 9日(金) 14:00～16:00	" ⑥ 耕稼春秋 土屋又三郎	石川の圃場整備 -活気ある農村の建設をめざして-	" 源氏物語	28 人
15	1月23日(金) 14:00～16:00	" ⑦ 黒羽織党・党首 長連弘	新しい歩み石川	" 更級日記	24 人
合 計					407 人

事業の評価(成果・課題)

今年度も、県民大学校放送利用講座として過去にテレビ放映された「いしかわ大百科」を教材として活用した。また新たに、生涯学習センターが社会教育センター時代に自主制作した「石川の記録映画」も活用した。石川県の歴史を学びたいという県民のニーズに十分応え得る内容であり、受講生からも「郷土の歴史の新たな発見や再発見があった」等の感想が聞かれた。解説を加えることでより理解しやすくなることもあり、参加できなかった講座の解説資料を求める受講生もいるなど、大変好評であった。また「日本俳句紀行」「古典名作撰」についても、日本の風土・歴史・文学のつながりを知ることが出来たとのことで、好評であった。当センター視聴覚ライブラリーでは良質のビデオ教材を数多く所蔵しており、今後もこれらの教材を活用した講座を継続し、県民に学ぶ機会を提供していくことが必要と考える。

3 学習情報・教材提供

(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)

業務内容

県民の多様な生涯学習ニーズに対応した「講座案内」・「講師案内」・「視聴覚教材情報」・「ふるさと情報」・「イベント情報」の提供をインターネット上で行っている。また昨年度より、県制作DVD「今蘇る石川の記録映像」の映像配信及び、当センターの主催講座「ふるさとモット学び塾」の講座の一部の動画配信も行っており、幅広く県民の要望に応じて、充実した生涯学習情報を県民に提供するシステムである。

対象

一般県民

運用

サーバーを県庁内ネットワーク管理室に設置して石川県立生涯学習センターと専用回線で接続して、24時間運用している。

提供情報

<データベース> (16,196件)

ふるさと情報	県内の名所・史跡・名物・祭り・観光コース等	2,438件
視聴覚教材情報	16ミリフィルム・ビデオ教材	11,184件
イベント情報	県内の各種事業・イベント・催し物等	127件
講座案内	県内の各種講座・講演会等	1,939件
講師案内	講演会・学習会等の講師や地域の指導者	475件
映像	今蘇る石川の記録映画・講座ビデオ(ふるさとモット学び塾)	33件

利用状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
データベース	37,472	38,162	41,024	44,162	48,350

(2) まなびすとルーム

業務内容

ルーム内に、学習スペース・視聴覚ライブラリー・県民企画展示コーナー（マナビィコーナー）・生涯学習関係刊行物等の閲覧コーナーを有し、広く県民に対して生涯学習に関する会場の提供・情報提供及び、学習相談、学習成果のPRを行っている。

対象

地域における社会教育関係団体等の職員及び一般県民

開館日・時間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場所

石川県立生涯学習センター内（石川県本多の森庁舎2階）

(3) 視聴覚ライブラリー

業務内容

視聴覚教材（16ミリフィルム・ビデオ等）の整備・貸し出しを主な業務とし、映像を通して県民の生涯学習活動の推進を図る。

対象

各市町教育委員会、公民館及び団体等（ビデオ・CD・DVDは個人も対象）

開館日・時間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場所

石川県立生涯学習センター内（石川県本多の森庁舎2階）

視聴覚教材保有状況

区分	本数	平成25年度末	平成26年度		合計
			購入	寄贈・その他	
16ミリフィルム		1,557本	0本	-1本	1,556本
ビデオテープ		6,016	0	-85	5,931
CD		830	0	-7	823
DVD		1,261	66	74	1,401

利用状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数
16ミリフィルム	181	5,666	218	5,252	65	4,209	74	4,093	82	3,118
ビデオテープ	3,958	21,637	3,322	15,542	1,762	11,081	1,185	5,618	282	4,629
CD	668	1,178	863	4,748	501	1,373	331	867	656	1,113
DVD	1,137	3,495	1,405	10,130	1,025	7,543	1,712	9,623	2,985	13,311

(4) 16ミリ映画教材提供

趣 旨

市町教育委員会と連携し、市町の公民館等生涯学習施設において、県立生涯学習センター視聴覚ライブラリーが所蔵する16ミリ映画の上映を行うことにより、幅広く県民の生涯学習活動を支援する。

対象・定員

子ども・一般 定員は各会場による

会 場

第1回 町民センターアステラス(宝達志水町)

第2回 上戸公民館(珠洲市)

第3回 上戸公民館(珠洲市)

第4回 小立野児童会館(金沢市)

第5回 空とこども絵本館(小松市)

第6回 内灘町文化会館(内灘町)

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	8月6日(水) 14:00～15:10	「日本のおばけ話 のっぺらぼう」、「ミッキーマウスのキャンピングカー」、「たのきゅう」、「よっちゃんの不思議なクレヨン」	50 人
2	8月20日(水) 12:30～13:45	「夫と妻の豊かな老後のために」、「バス停の座ぶとん」	26 人
3	8月20日(水) 14:00～15:20	「がんばれスイミー」、「三ねん寝太郎」	16 人
4	8月26日(火) 14:00～15:10	「日本のおばけ話 きもだめしのばん」、「瓜っこ姫とアマンジャク」、「おうさまはだれだ」、「日本のおばけ話 のっぺらぼう」	40 人
5	10月19日(日) 14:00～15:00	「一休さん たけのこと虎退治」、「ミッキーマウスのキャンピングカー」、「赤毛のアン～ダイアナの日記」	24 人
6	12月5日(金) 13:30～15:10	「てんびんの詩」	118 人
合 計			274 人

事業の評価(成果・課題)

16ミリ映画は、フィルム、映写機とも貴重な財産であり、またフィルム上映そのものが貴重な文化であるので、使える間に少しでも多くの県民に利用し、体験していただくことが重要である。当年度においても新たな施設と連携して事業を実施できたことは、大きな成果であったといえる。

今後も、市町の生涯学習活動を支援する視点から、利用申込み期限を設けないなど、柔軟に利便性を向上する事業に工夫していきたい。

(5) 生涯学習センターだより(館報)

発行日・号数	巻 頭 言	「出 会 い」
<p>5月20日</p> <p>第268号</p>	<p>表題 「多様な交流に支えられる 学びの場」</p> <p>執筆者 金沢美術工芸大学 教授 桑 村 佐和子</p>	<p>表題 「パスポートサイズのビデオカメラ に魅せられて」</p> <p>執筆者 金沢学院大学美術文化学部 教授 棒 田 邦 夫</p>
<p>11月21日</p> <p>第269号</p>	<p>表題 「公民『館』として責任と 役割の他に」</p> <p>執筆者 石川県公民館連合会 会長 関 戸 正 彦</p>	<p>表題 「出会いと生涯にわたるつき合い」</p> <p>執筆者 「あすなる悠々塾」 講師 後 藤 朗</p>

(6) 県民企画展示マナビィコーナー

趣 旨

当センター内に展示コーナーを設け、生涯学習に取り組む県民の学びの成果を披露する場とする。これにより、生涯学習に取り組む人達のさらなる意欲の向上や展示発表を交流の場として活用することで、生涯学習に取り組む人の増加を図る。

対 象

一般県民

日 時

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター内（石川県本多の森庁舎2階）

日 程

番号	日 時	内 容	資料提供・展示協力
1	4月1日(火)～4月20日(日) 9:00～18:00	〇〇ながら『墨・彩』展	泊 遊歩(泊 雄平)
2	4月22日(火)～5月31日(土) 〃	くるみ書道会展	玄土社 青山書会
3	6月2日(月)～6月27日(金) 〃	「懐かしの昭和スター」展	笠島 信夫
4	7月1日(火)～7月18日(金) 〃	ぼれぼれ工房山の家作品展	ぼれぼれ工房山の家
5	7月22日(火)～7月31日(木) 〃	生涯学習センター所蔵展	生涯学習センター
6	8月1日(金)～8月14日(木) 〃	竹灯籠作品展	K・A工房 岡島 昭彦
7	8月19日(火)～9月2日(火) 〃	昆虫の生態写真と標本展	吉村 久貴
8	9月5日(金)～9月26日(金) 〃	美川刺繍教室作品展	石川県民大学校 美川刺繍教室
9	9月30日(火)～10月29日(水) 〃	漢詩とつぼつぼ	島田 房義
10	10月31日(金)～11月28日(金) 〃	第34回石川県児童生徒俳句大会入賞作品展	石川県俳文学協会 児童生徒俳句委員会
11	12月1日(月)～12月26日(金) 〃	布絵本作品展	ボランティアサークル おもちゃ箱
12	1月7日(水)～1月26日(月) 〃	いしかわアートくらぶ作品展	いしかわアートくらぶ
13	2月2日(月)～2月28日(土) 〃	悠久の土笛・手作りオカリナ展	オカリナ交流会
14	3月1日(日)～3月30日(月) 〃	兼六園と金沢城公園の四季及び植物の写真展	今城 哲二

事業の評価(成果・課題)

個人や団体の学習活動の成果を広く県民に紹介する場として利用されている。今年度は、水墨画、書道、陶芸、写真など広い分野にわたる展示のほか、昆虫の標本や布絵本、手作りオカリナなど新しい分野の展示も行われ、多くの人々にご来館頂き、生涯学習の啓発にも繋がった。今後も、県民がより気軽に利用できるよう展示コーナーの運営、工夫に努めるとともに、PRの方法についても検討していきたい。

4 指導者養成・研修

(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する基礎的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 60名

会 場

本多の森庁舎会議室、石川県行政庁舎

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月22日(木) 10:00～12:00	生涯学習・社会教育入門	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	30人
	13:00～13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会会長 関戸 正彦	30人
	14:00～14:40	県の生涯学習の施策	県生涯学習課参事 清水 茂	30人
	14:40～15:20	県立生涯学習センターの役割と 事業概要	生涯学習センター 辻野 英夫	30人
	15:30～16:00	公民館活動	野々市市押野公民館館長 亥野 正治	30人
2	5月29日(木) 10:00～12:00	公民館におけるHPの活用	金沢市千坂公民館館長 中屋 保雄 金沢市田上公民館文化教養部長 福田 和夫	18人
	13:00～16:00	効果的なチラシの作り方	(有)ブレーン・オアシス代表 金子 伸樹	18人
3	6月26日(木) 10:00～12:00	コミュニケーション能力向上	杉原企画代表 杉原 美佐子	28人
	13:00～14:30	人権講演会 「ぼけ」でも心は生きている	(公社)認知症の人と家族の会代表理事 高見 国生	28人
	14:40～16:10	アイスブレイク	石川県レクリエーション協会常務理事 畠 紀子	28人
4	7月 3日(木) 10:00～12:00 13:00～16:00	公民館等を中心とした地域づくり と今後の公民館の在り方について	文部科学省生涯学習政策局 社会教育課公民館振興係長 小屋松 英	14人
5	7月17日(木) 10:00～12:00 13:00～16:00	学校・家庭・地域の連携について (グループ討議)	富山大学地域連携推進機構教授 藤田 公仁子	25人
合 計				309人

(注) 5月22日、6月26日、7月17日は必修講座。

5月22日は市町生涯学習担当者基礎研修と合同開催(参加人数は上記以外に11人)

6月26日の「人権講演会」は専門研修と合同開催(参加人数は上記以外に専門研修27人、一般50人)

7月3日は専門研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催(参加人数は上記以外に専門研修26人、担当者等研修26人)

事業の評価(成果・課題)

基礎研修は昨年度から毎年の研修としており、カリキュラムの日数・時間は前年度と同じである。また、講座の内容は、地域連携の課題を含めるなど必須科目を含め、広範な科目となるよう編成した。北は珠洲市から南は加賀市まで9市町から32名が参加し、館長15名、主事等11名が修了した。

(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する専門的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 40名

会 場

本多の森庁舎会議室、石川県行政庁舎

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月19日(木) 10:00～12:00	地域の実情・住民ニーズと公民館の運営	金沢美術工芸大学教授 桑村 佐和子	25人
	13:00～16:00	地域の実情・住民ニーズに対応した公民館運営の方策 (グループ討議)		25人
2	6月26日(木) 10:00～12:00	事業評価の在り方	富山大学地域連携推進機構教授 藤田 公仁子	27人
	13:00～14:30	人権講演会 「ぼけ」でも心は生きている	(公社)認知症の人と家族の会代表理事 高見 国生	27人
	14:40～16:10	事業評価対応 (グループ討議)	富山大学地域連携推進機構教授 藤田 公仁子	27人
3	7月3日(木) 10:00～12:00	公民館等を中心とした地域づくりと今後の公民館の在り方について	文部科学省生涯学習政策局 社会教育課公民館振興係長 小屋松 英	26人
	13:00～16:00			
合 計				157人

(注) 6月19日と6月26日は必修講座

6月26日の「人権講演会」は基礎研修と合同開催(参加人数は上記以外に基礎研修28人、一般50人)

7月3日は基礎研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催(参加人数は上記以外に基礎研修14人、担当者等研修26人)

事業の評価(成果・課題)

カリキュラムの日数・時間は前年度と同じ講座内容に地域ニーズの対応と事業評価の課題を含めるなど前年同様広範で科目を精選編成した。専門研修は2年の受講で修了するものであり、北は珠洲市から南は加賀市まで7市町から初年度受講者と併せ28人が参加し、今年度2年目に当たる館長1人と主事等12人全員が修了した。

(3)ファシリテーター養成講座

趣 旨

地域や職場等で直面している問題に取り組むため、地域で活動されている方、市町職員、公民館職員、NPO職員等にファシリテーターとしての知識及び技能の修得を図る。

参加対象・定員

市町職員、公民館職員、NPO職員及び一般
 【入門編】 40名 【応用編】 30名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

【入門編】

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	7月10日(木) 10:00～16:00	入門講座	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	34人
2	7月11日(金) 10:00～16:00	〃	〃	34人
3	7月26日(土) 13:30～16:00	修了生実践事例紹介	NPOかなざわ創造塾 山口敬士朗 24年度修了生 内藤 雅志 ファシリテーター養成講座修了生+の 会 今井 和愛	29人
合 計				97人

【応用編】

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	9月11日(木) 10:00～16:00	応用講座	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	19人
2	9月12日(金) 10:00～16:00	〃	〃	20人
3	9月25日(木) 13:30～16:00	実地体験計画	生涯学習センター職員	18人
4	9月26日(金) ～11月21日(金)	実地体験(各自)		19人
5	12月 2日(火) 13:00～16:10	実地体験報告会 修了式	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	16人
合 計				92人

事業の評価(成果・課題)

本年度、入門編の募集では、締切前に定員を上回る応募があった。受講生の出席率も高く、講座に対する熱意が感じられた。講師の富永先生は、本講座の講師3年目となるが、受講者のアンケートを見ると、全員が「すごく良かった」又は「良かった」と回答しており、大変好評を得たことから、来年度も同じ講師での本講座を依頼することとした。応用編では、受講生から「より深く知識を身に付けたい」という意見もあがっており、より充実した講座となるよう努めたい。

(4) 市町生涯学習担当者基礎研修

趣 旨

今年度、市町の生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の職員になった者を対象に、生涯学習に関する行政や事業を推進する上で必要な基礎的知識の修得を図る。

対 象・定 員

市町生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の1年目の職員、若しくはそれに準ずる者及び希望者 30名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月22日(木) 10:00 ~ 12:00	生涯学習・社会教育入門	金沢大学地域連携推進センター 教授 浅野 秀重	11人
	13:00 ~ 13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会 会長 関戸 正彦	11人
	14:00 ~ 14:40	県の生涯学習の施策	石川県生涯学習課 課参事 清水 茂	11人
	14:40 ~ 15:20	県立生涯学習センターの役割と事業概要	石川県立生涯学習センター 主幹 辻野 英夫	11人
	15:30 ~ 16:00	公民館活動	野々市市押野公民館 館長 亥野 正治	11人
2	5月23日(金) 10:00 ~ 12:00	生涯学習・社会教育担当者に求められること	金沢美術工芸大学 教授 桑村 佐和子	8人
	13:00 ~ 16:00	コーディネーター力向上 ～人を動かす話し方～		8人
合 計				71人

(注) 5月22日は公民館職員基礎研修と合同開催(参加人数は上記以外に公民館職員基礎研修30人)

事業の評価(成果・課題)

1日目は公民館職員基礎研修と合同で社会教育の概要を学ぶ。2日目は生涯学習・社会教育担当職員に求められる能力について講義を受け、ワークショップでは他市町の新任の同業職員と意見交換を行い、参加者から大変好評だった。来年度も同様の内容・方法により研修を実施したい。

(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会

趣 旨

学習教材としての16ミリフィルムの活用活性化を図るとともに、フィルムの保全のために、正しい映写技術の普及に努める。

対 象

一般県民 随時受付

会 場

石川県立生涯学習センター

内 容

16ミリ発声映写機操作技術認定 講習(学科、実技)

講 師

石川県立生涯学習センター職員

日 程

番号	日 時	時 間	参加人数
1	4月10日(木)	13:30 ~ 16:30	1人
2	7月15日(火)	13:30 ~ 16:30	1人
3	10月28日(火)	10:00 ~ 13:00	1人
合 計			3人

事業の評価(成果・課題)

講習日を限定せず、受講希望者の日程に合わせて講習会を実施している。16ミリ映画教材利用の拡大、映写技術の継承のためにも、今後も講習実施の周知に努めたい。

5 兼六園周辺文化の森 ミュージアムウィーク（秋）

趣 旨

本県の生涯学習の拠点として、講座・映画会等の学びの機会を提供するとともに、講演会・イベント等を開催し、「兼六園周辺文化の森」の賑わいと当センターの活性化を図る。

主 催

石川県立生涯学習センター、いしかわ生涯学習講師の会(*1)、石川県視聴覚教育協議会(*2)

会 場

石川県本多の森庁舎

内 容

催事内容		日時	会場	対象・定員	参加人数
展 示	伝統工芸作品展 自然史資料館収蔵品展示 観葉植物作品展	10月4日(土) ～12日(日) 9:00～18:00	1階ロビー	一 般 なし	3,971 人
	「漢詩とつぼつぼ」展	10月4日(土) ～12日(日) 9:00～18:00	まなびすとルーム (マナビィコーナー)	一 般 なし	121 人
	合 計				4,092 人
講 演 会	秋のスペシャル講演会「テレビシナリオの来し 方行く末」講師 水橋 文美江(脚本家)	10月4日(土) 14:00～15:30	第2会議室	一 般 160名	102 人
	秋のスペシャル講演会「金沢城の魅力再発見 ～高山右近と小堀遠州がみた金沢～」 講師 木越 隆三(金沢城調査研究所所長)	10月6日(月) 14:00～15:30	"	一 般 160名	140 人
	合 計				242 人
体 験 教 室	木の実でつくる工作教室	10月4日(土) 9:00～16:00	まなびすとルーム (学習スペース)	一 般 なし	61 人
	新聞紙でつくるコサージュ	10月4日(土) 13:30～15:30	"	一 般 20名	25 人
	まが玉づくり	10月5日(日) 10:00～12:00	"	一 般 30名	15 人
	おもしろ科学実験	10月5日(日) 13:30～15:30	"	一 般 20名	41 人
	紙しばい	10月11日(土) 10:00～12:00	"	一 般 40名	39 人
	草笛教室	10月11日(土) 13:30～15:30	"	一 般 30名	36 人
	合 計				217 人
い しか っ わ 県 民 大 学 校 講 座	あすなる悠々塾「目指せ!!イキイキ家族～家族 関係を考える～」講師 安東 崇	10月4日(土) 13:30～15:30	県民大学校教室1	一 般 30名	9 人
	あすなる悠々塾「食卓から見た食糧(農業)・ エネルギー問題」講師 西本 宗之助	10月7日(火) 13:30～15:30	まなびすとルーム (学習スペース)	一 般 30名	11 人
	あすなる悠々塾「骨盤のゆがみと健康について」 講師 藤井 隆信	10月11日(土) 13:30～15:30	県民大学校教室1	一 般 30名	16 人
	ふるさとふれあい講座「石川の漆文化と輪島塗」 講師 四柳 嘉章(石川県輪島漆芸美術館館長)	10月10日(金) 13:30～15:00	第2会議室	一 般 130名	110 人
	*1 緑陰講座in本多の森「介護者のひとりごと」 講師 大塚 吉江	10月9日(木) 13:30～14:30	まなびすとルーム (学習スペース)	一 般 30名	29 人
	*1 緑陰講座in本多の森「介護者のひとりごと」 講師 大塚 吉江	10月9日(木) 14:40～15:40	"	一 般 30名	20 人
	*2 県民映像カレッジ(2期第1回) 講師 生涯学習センタービデオクラブ会員	10月9日(木) 13:30～16:00	県民大学校教室2	一 般 16名	11 人
合 計				206 人	

催事内容		日時	会場	対象・定員	参加人数
映画会	本多の森映画会「嵐が丘」	10月5日(日) 14:00～16:00	第3会議室	一般 80名	50人
	本多の森映画会「お茶漬の味」	10月6日(月) 14:00～16:00	〃	一般 80名	52人
	特別映画会「激動の記録 映像で見る戦後」	10月9日(木) 9:00～12:00	〃	一般 80名	36人
	特別映画会「今蘇る石川の記録映像」	10月9日(木) 13:30～15:30	〃	一般 80名	25人
	特別映画会「疎開した40万冊の図書」 (第1回上映)	10月12日(日) 13:00～14:45	〃	一般 80名	48人
	特別映画会「疎開した40万冊の図書」 (第2回上映)	10月12日(日) 15:00～16:45	〃	一般 80名	33人
	合計				
ミニコンサート	金沢芸妓の舞と横笛	10月10日(金) 11:00～12:00	第2会議室	一般 130名	84人
	オカリナ ミニコンサート(体験付)	10月12日(日) 15:00～16:00	まなびすとルーム (学習スペース)	一般 40名	38人
	合計				
ビデオ上映	ビデオ上映「シリーズ北陸の工芸作家 石川の匠たち」	10月6日(月) 10:00～12:00	まなびすとルーム (学習スペース)	一般 40名	6人
	いしかわビデオ作品コンクール平成24・25年度優秀作品上映	10月7日(火) 10:00～12:00	県民大学校教室2	一般 40名	8人
	ビデオ上映「いしかわ大百科 文学シリーズ」	10月10日(金) 10:00～12:00	まなびすとルーム (学習スペース)	一般 40名	8人
	合計				
入館者総数					5,438人

事業の評価（成果・課題）

期間中の入館者数は、平成25年度の475名から平成26年度は5,438名へと増加し、賑わい創出という観点からは一定の成果があったといえる。

期間中のセンター主催行事は、平成25年度までは講座と映画会のみであったものを、平成26年度は講演会・体験教室等も開催したことにより、ふだんの講座等の参加者に比べて若い年齢層の方にも数多くご参加いただいた。また、1階ロビーで行った展示は、隣接する本多の森ホールのイベント来場者の集客にとりわけ効果があった。

期間中のセンター主催行事に参加したことが、生涯学習に取り組むきっかけとなるとよい。

6 兼六園周辺文化の森 いしかわの伝統にふれる春 《北陸新幹線金沢開業記念イベント》

趣 旨

兼六園周辺の文化施設との連携により多彩な文化イベントを開催し、「兼六園周辺文化の森」として、多くの県民・観光客に本県の文化芸術に親しんでいただき、また北陸新幹線金沢開業後に訪れる観光客等のもてなし力の向上にも繋げる。
併せて、県外に向けて情報発信することにより賑わいの創出と当センターの活性化を図る。

主 催

石川県立生涯学習センター

会 場

石川県本多の森庁舎

内 容

催 事 内 容		日 時	会 場	対象・定員	参加人数
展 示	金沢城・兼六園の四季及び植物の写真展	3月1日(日) ～30日(月) 9:00～18:00	まなびすとルーム (マナビィコーナー)	一 般 な し	500 人
	平成27年度いしかわ県民大学校ポスター等図案 作品展	3月9日(月) ～22日(日) 9:00～18:00	1階ロビー	一 般 な し	1,285 人
	合 計				1,785 人
講 演 会	春のスペシャル講演会 「石川に生まれて～その魅力と誇り～」 講師 篠井 英介(俳優)	3月15日(日) 14:00～15:30	第2会議室	一 般 160名	104 人
	春のスペシャル講演会 「加賀藩士の食文化」 講師 長谷川 孝徳(北陸大学未来創造学部教授)	3月21日(土) 14:00～15:30	〃	一 般 160名	66 人
	合 計				170 人
映 画 会	[追加上映]本多の森キッズシアター 「北かぜとおひさま」、「やせたオオカミ」、 「ちいさなジャンボ」、「あらいぐまラスカル」	3月25日(水) 10:00～11:30	県民大学校教室1	幼児・小学生 生・保護者	84 人
	本多の森キッズシアター 「北かぜとおひさま」、「やせたオオカミ」、 「ちいさなジャンボ」、「あらいぐまラスカル」	3月25日(水) 13:30～15:00	第3会議室	幼児・小学生 生・保護者 40名	86 人
	[追加上映]本多の森キッズシアター 「ピノキオ」	3月26日(木) 10:00～11:30	県民大学校教室1	幼児・小学生 生・保護者	45 人
	本多の森キッズシアター 「ピノキオ」	3月26日(木) 13:30～15:00	〃	幼児・小学生 生・保護者 40名	48 人
	合 計				263 人
入館者総数					2,218 人

事業の評価（成果・課題）

当センターでは例年、3月はイベントを実施していなかった。北陸新幹線金沢開業の今年は、展示のほかにスペシャル講演会やキッズシアターを開催したことにより、若年層を中心に来館者が増加し館内にも活気が溢れた。

とりわけ隣接する本多の森ホールでイベントが開催された日には、1階ロビーの展示にも多くの方が来場した。

7 マナビフェアin本多の森

趣 旨

いしかわ教育ウィーク（11月1日～7日）に合わせ、生涯学習に関する県民の理解を深め、生涯学び続ける気運を高める。

主 催

石川県立生涯学習センター、いしかわ生涯学習講師の会（*1）

会 場

石川県本多の森庁舎

内 容

催 事 内 容		日 時	会 場	対象・定員	参加人数
展 示 ・ 実 演	県民大学校実施機関及び近隣公民館等の紹介 コーナー（石川県企画振興部新幹線・交通対策監 室、石川県立自然史資料館、金沢市小立野公民 館、金沢市菊川公民館、金沢市味噌蔵町公民館）	10月31日(金) 13:00～18:00	1階ロビー	一 般 な し	1,547 人
	ジャム・梅干し・木工製品等の販売 （石川県立明和特別支援学校）	11月 1日(土) 9:00～16:00			
	ハンドベル演奏 （北陸学院中学校）	11月 1日(土) 15:00～16:00			
	第34回石川県児童・生徒俳句大会入選作品展	10月31日(金) 9:00～18:00 11月 1日(土) 9:00～18:00	まなびすとルーム （マナビコーナー）	一 般 な し	82 人
	似顔絵コーナー （石川県立金沢辰巳丘高等学校）	11月 1日(土) 13:00～16:00	まなびすとルーム （学習スペース）	一 般 な し	40 人
	合 計				
大 学 校 講 座 い し か わ 県 民	あすなる悠々塾「能登守・加賀守の歴史について」 講師 後藤 朗	11月 1日(土) 10:00～11:30	第2会議室	一 般 70名	27 人
	ふるさとふれあい講座「南北朝内乱と北加賀の戦」 講師 東四柳 史明（金沢学院大学教授）	11月 1日(土) 13:30～14:50	〃	一 般 130名	101 人
	*1 緑陰講座in本多の森「楽しい筆ペンアート」 講師 上野 さなみ	10月31日(金) 13:30～15:30	まなびすとルーム （学習スペース）	一 般 20名	16 人
	合 計				
映 画 会	本多の森映画会「家で死ぬということ」	10月31日(金) 14:00～16:00	第3会議室	一 般 80名	75 人
	本多の森映画会「人生、いろいろ」	11月 1日(土) 14:00～16:00	〃	一 般 80名	45 人
	合 計				
ビ デ オ 上 映	SVCビデオ作品上映会 （生涯学習センタービデオクラブ）	11月1日(土) 10:00～12:00	県民大学校教室2	一 般 20名	21 人
	合 計				
入館者総数					2,091 人

事業の評価（成果・課題）

これまで利用しなかったメディアでも広報したことにより、講座や映画会では前年を上回る参加があった。また、県民大学校実施機関及び近隣公民館等との連携が深まったことにより、1階ロビーの展示・実演の参加も増えた。隣接する本多の森ホールのイベントによる相乗効果もあり、期間中の入館者総数は2千人を超えた。今後も事業を継続し、生涯学習センターの取り組みについて広く県民の理解を得られるようにしたい。

8 他の機関・団体との主催・共催事業

(1) 生涯学習振興県民フォーラム

趣 旨

県内の社会教育生涯学習・学校教育等の関係者が集い「地域の良さを再発見するキャリア教育」をテーマに、実践を交流し、課題と展望を共有することで、『石川の教育振興基本計画』がめざす、学校・家庭・地域が連携・協力した社会全体での教育力向上を図る。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

後 援

金沢大学地域連携推進センター、石川県教育委員会

協 力

石川県社会教育協会

対象・定員

一般県民、県・市町生涯学習・社会教育職員関係者、公民館職員、学校教育関係者、PTA関係者等

会 場

石川県行政庁舎 1105会議室

参加者数

112人

日 程

日 時	内 容	講 師 等
1月29日(木) 13:15～13:20	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課課長 坂井 芳子
13:20～14:20	基調講演 「地域の良さを再発見するキャリア教育」	福井大学アドミッションセンター教授 大久保 貢
14:30～16:25	パネルディスカッション 「地域の良さを再発見するキャリア教育 ～地域に根付く人材を育てるために～」	コーディネーター 福井大学アドミッションセンター教授 大久保 貢 パネリスト 石川県教育委員会学校指導課主任指導主事 谷 正一 ジョブカフェ石川キャリア教育支援コーディネーター 森田 浩 小松市社会教育委員 山本 博之
16:25～16:30	閉会挨拶	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

基調講演・パネルディスカッションでは、「これからの時代」に必要となってくる「探究力」を育成するキャリア教育について、また学校教育・教育行政・地域のそれぞれの立場で取り組みを進めている方からの現状分析や実践について話を聞くことができた。地域の仕事の見学、事業所での就業体験学習、ジョブカフェの学習で働く大人のお話を聞く学習などが紹介され、子ども達がそれぞれの発達段階に応じて地域の大人と係わりながら、地域の良さに触れる、実際に仕事を体験する、より専門的な仕事の技術について詳しく教わるといった学習の重要性を認識することができた。知識だけの教育から、知識・技術の活用力を育む教育へと変換していくには、学校・家庭・地域が連携・協力し社会全体で教育力を向上させていくことが必要であるという共通認識を持つことができた。学校教育・教育行政・地域のそれぞれの立場できめ細かく、未来を担う子ども達に係っていくこと、三者の連携を密にして創りあげていくキャリア教育の重要性について再認識できる機会となった。

(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修

趣 旨

県内の市町及び社会教育施設等の生涯学習・社会教育担当職員等を対象に、「公民館等を中心とした地域づくり」をテーマに、現状と課題を見つめ、これからの生涯学習による地域社会づくりの推進に必要な職員としての資質の向上を図る。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会、金沢大学地域連携推進センター、石川県教育委員会

対象・定員

市町教育委員会生涯学習・社会教育担当職員、市町公民館職員

会 場

石川県行政庁舎 1 1 0 2 会議室

参加者数

66人 内訳は、生涯学習・社会教育担当職員26人、公民館職員基礎研修14人、専門研修26名

期 日

平成26年7月3日(木) 10:00～16:00

日 程

日 時	内 容	講 師
10:00～10:05	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課課長 坂井 芳子
10:05～11:15	基調講演 「公民館等を中心とした地域づくりと今後の公民館の在り方について」	文部科学省生涯学習政策局社会教育課 公民館振興係長 小屋松 英
11:25～15:40	講義・研究協議・発表 「地域学習によるお宝発見」	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重
15:40～15:55	講評	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重
		文部科学省生涯学習政策局社会教育課 公民館振興係長 小屋松 英
15:55～16:00	閉会挨拶	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

講師より最近の社会教育と公民館を廻る国政の動向と公民館を中心とした社会教育活動の活性化による地域づくりの取組について説明・紹介があった。研究協議では、事例紹介を受け、地縁共同体の構成員として主体的に地域課題を解決するために、風土等の地域の宝を新たな切口で活かし、学校や社会教育諸団体と連携して指導・推進できる人材の育成等について協議され有意義であった。今後も、生涯学習による地域社会づくりの推進の助とするために内容を充実し、有意義な情報交換と意欲を高めていただける場を提供したい。

(3) 社会教育主事等フォローアップ研修

趣 旨

新しい時代に対応した生涯学習社会の実現を目指していくためには、それぞれの地域で実際に事業活動の推進に中核的な役割を果たす社会教育主事等がその力を十分に発揮することが重要である。

そのためには、社会教育主事等がその知識や技能等の、専門的で実践的な力量を高めることが求められている。こうした状況に鑑み、最新の生涯学習・社会教育を巡る動向や国等の政策的な課題の講義、地域の実態等を踏まえた実践的なワークショップなどを主な内容とする研修講座を開催し、社会教育関係者相互の研鑽を促し実践的な力量の向上を図る。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会・石川県教育委員会

共 催

金沢大学地域連携推進センター

対象・定員

社会教育主事、社会教育主事講習修了者、生涯学習・社会教育行政担当者、生涯学習・社会教育施設等に勤務している者

会 場

石川県行政庁舎 1104会議室（20日 13:10～15:50）

石川県立白山青年の家（20日 16:50～22:00・21日 8:30～11:40）

参加者数

41人

日 程

日 時	内 容	講 師 等
2月20日(金) 13:10～13:15	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課課長 坂井 芳子
13:15～15:00	講演 「社会教育を元気づける！ ～社会教育職員の役割について～」	文部科学省生涯学習政策局社会教育課 企画官 水畑 順作
15:10～15:50	講演 「北陸三県の現状・ 27年度新規事業について」	福井県教育庁生涯学習・文化財課参事 百田 忠浩 富山県教育委員会事務局生涯学習・文化財室 青少年班長 早川 誠一
16:50～17:05	オリエンテーション	
17:10～18:20	リレートーク 「社会教育主事講習と私」	福井県坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課 社会教育主事 宇野 正昭 石川県珠洲市立宝立小中学校長 多田 進郎 石川県金沢市立高岡中学校学校支援コーディネーター 石黒 佳恵 富山県富山市在住 農業 木戸 和一
18:30～20:00	夕食・入浴	
20:15～22:00	情報交換会	
2月21日(土) 8:30～11:30	講義 「人が集まる！ 行列ができる！ 講座イベントの作り方」	講座企画塾 吉田 清彦
11:30～11:40	閉会挨拶	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

文部科学省の水畑企画官の講演では、過去に社会教育行政が衰退した原因や今後の方向性についての貴重な話を聞くことができた。地域の諸課題を解決していく上で、必要な知識・ノウハウ・アイデアなどの学習や住民の意識・行動変容について支援することが、社会教育に求められている役割である。社会教育行政は、地域の関係主体・機関相互のネットワークを構築する役割を担っていること、社会教育に携わる職員はそのことをしっかり認識すべきであることが強調された。

また、福井・富山県の現状・H27新規事業について、他県の動向を知ることにより、本県の事業と比較して聞くことができた。「社会教育主事講習と私」では、講習を受講したことが今の仕事や立場にどのような変容をもたらしたかを様々な立場から話して頂いた。コミュニケーション能力や企画力、受講者同士のネットワークが役立っているとのことであった。講義「人が集まる！行列ができる！講座イベントの作り方」では、ターゲットを明確化、開催日時など人が集まるポイントについて講義頂いたあと、チラシが手直しされ、どの様に変容してより良くなったのかが展示してあり参考になった。参加者アンケートからは、多様な講師・プログラムが設定されているという声もあり、概ね好評であった。

(4) 教育事務所管内別生涯学習研修会

趣 旨

教育事務所管内ごとに研修の機会を設け、市町の生涯学習担当者、公民館職員等生涯学習行政関係者の実務能力等の力量を高め、県内の生涯学習の振興に寄与する。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会、金沢大学地域連携推進センター、石川県立生涯学習センター、市町教育委員会等

対 象

市町生涯学習・社会教育担当者、公民館職員等

日 程

教育事務所	日 時	内 容 等	参加者数
金 沢	11月7日(金) 13:30～15:30	会場：津幡町文化会館シグナス 講義 「人間関係が良好で犯罪のない地域づくり」 富山大学 地域連携推進機構 教授 藤田 公仁子	29 人
中能登	11月13日(木) 13:30～15:30	会場：志賀町文化ホール 講義 「魅力ある講座・イベントの立案・運営方法」 福井大学 教育地域科学部 教授 寺尾 健夫	33 人
小 松	11月20日(水) 13:30～15:30	会場：小松第一地区コミュニティセンター 講義 「子育て支援と公民館の取組」 富山国際大学 子ども育成学部 教授 水上 義行	19 人
奥能登	2月28日(土) 13:30～16:00	会場：コンセールのと 講義 「能登の里山里海を活かす公民館の体験事業」 金沢大学 地域連携推進センター 特任教授 宇野 文夫	30 人
合 計			111 人

事業の評価(成果・課題)

テーマについて、地区毎に要望を受け、実践的な内容の研修会を実施した。公民館事業についての情報交換の場としても、有意義な研修会となった。今後も、職員の実務能力を高めるため内容等を充実したい。

(5) 視聴覚セミナー

趣 旨

視聴覚教育や情報技術の動向について学ぶとともに、市町相互の連携を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

各市町教育委員会視聴覚教育担当職員及び一般県民 50名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	6月12日(木) 15:30～17:00	利用者を惹きつけるWebデザイン	金沢学院大学美術文化学部 メディアデザイン学科 教授 棒田 邦夫	24人

事業の評価(成果・課題)

具体的な事例を見ながら、魅力的なwebデザインとその作成ツール、HTML5などの最新の技術と活用方法について学ぶことができた。技術のみではなく、その技術をいかに活用し視聴覚教育に反映するかが実務担当者にとって重要な課題であり、その点について学ぶことができるセミナーを今後も継続していく必要がある。

(6) 県民映像カレッジ

趣 旨

ビデオ撮影および編集技術の習得・向上を通し、映像に親しむ生涯学習活動の推進を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター・石川県社会教育協会

対象・定員

一般県民 ・ 1期 16名 ・ 2期 16名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数 (延べ数)
1	6月4日(水)・11日(水)・ 18日(水)・25日(水) 7月2日(水)・9日(水) 13:30～16:00	ビデオ撮影及び編集に関する講義・実習	生涯学習センタービデオ クラブ(SVC)会員	107人
2	10月9日(木)・15日(水)・ 22日(水) 11月5日(水)・12日(水)・ 19日(水) 13:30～16:00	”	”	62人
計				169人

事業の評価(成果・課題)

今年度も昨年度同様多くの県民に受講の機会が与えられるよう、1期、2期とも同じ内容で募集を行った。参加者は非常に熱心に受講し技能の習得を行なった。今後、この成果が様々な場所で発揮されることが期待される。

(7)ICT活用講座

趣 旨

ICT等情報技術革命における教育メディア関連の課題について、その対応策・利用方法等を習得することを目指す。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

第1回： 公民館、図書館、各種団体職員等 9名

第2回： いしかわビデオ作品コンクール受賞者、一般県民 50名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数 (延べ数)
1	8月27日(水)・28日(木) 10:00～15:00	ここまで出来る！Microsoft Word2013 使いこなし講座	officeアシスタ 代表 山川 広美	10人
2	3月6日(金) 13:30～14:30	記念講演 「私の映像造り 出会いと仲間たち」	生涯学習センタービデオ クラブ 幹事 岡野 重和	36人

事業の評価(成果・課題)

第1回は、Officeソフトの活用講座を実施した。平成25年度をピークにWindowsXP搭載のコンピュータの更新が行われ、OSの更新とともにMicrosoft Office2013が導入されたケースも多い。そこで、Word2003等とはかなり操作方法の異なるWord2013についてを基礎から学んでもらうことを目的とし、県内各地の公民館職員等を対象とする講習会を行なった。参加者からは、基礎から学ぶことにより、自己流ではわからなかった使い方を知ることが出来た、と好評であった。今後はより多くの方に参加していただけるよう実施時期の検討を行うとともに、学ぶ機会を提供し、実際の活動に取り入れられるよう基本的な技術と知識の習得を目指していきたい。

第2回は、第45回いしかわビデオ作品コンクールの記念講演として実施した。コンクール受賞者のほかビデオ愛好家の方々が熱心に聴講された。講師の歩んできた人生と映像との関わりについて触れた内容は大変感慨深いものであった。

(8) 平成26年度(第45回)いしかわビデオ作品コンクール

趣 旨

生涯学習の場で実際に役立つ視聴覚教材の自作活動を促進し、併せて県民の映像文化への関心と制作技術の向上を図る。

主催 / 共催

石川県視聴覚教育協議会 / 石川県教育委員会

後 援

石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、石川県社会教育協会、石川県公民館連合会

応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

応募期間

平成26年12月1日(月)～平成27年2月2日(月)

応募規定及び表彰

応募規定 教材部門 ・ 学校(幼稚園等を含む)や公民館等の生涯学習施設で教材として活用できるビデオ教材
・ 学校紹介ビデオ

一般部門 ・ 以外のビデオ作品

表彰 各部門に最優秀賞、優秀賞、奨励賞の表彰を行う。

また、最優秀賞には各部門に石川県教育委員会賞を、優秀賞には各部門に振り分けて石川県社会教育協会賞もしくは石川県公民館連合会賞を、授与する。

審査及び表彰式

審査会 平成27年2月18日(水) 13:30～17:00

表彰式 平成27年3月6日(金) 15:00～16:30

審査員

棒田 邦夫 (金沢学院大学教授) < 審査委員長 > 岡野 重和 (生涯学習センタービデオクラブ幹事)

網本 弘志 (県生涯学習課課長補佐) 村澤 勉 (石川県立生涯学習センター館長)

応募作品数

教材部門・・・6点 一般部門・・・15点 計21点

審査結果及び表彰者氏名

教材部門	一般部門
最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 Kunstgewerbe (クンストゲヴェルベ) 石川県立工業高等学校放送部	最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 夏越の大祓 小林 陽治
優秀賞 及び 石川県社会教育協会賞 感染症は突然に!! 小松市立国府中学校保健委員会	優秀賞 及び 石川県公民館連合会賞 大寒の春 立春の寒 森本 重雄
奨励賞 熱中症は危険!! 金沢市立工業高等学校 決意 津幡町立津幡南中学校 いぬまるっ子のひみつ発見! 小松市立犬丸小学校保健委員会	奨励賞 甘茶まつり 小林 恵子 坂の多い町 金沢 小倉 健治 はちまんさんとひやくまんさん 石川県立工業高等学校放送部

事業の評価(成果・課題)

平成26年度は、全応募点数が前年度に比べ4点増となった。また教材部門は応募が6点と、前年度より1点増となったものの少数であった。

課題としては、特に教材部門の応募を増やすために、早期に各学校や視聴覚教育研究団体に働きかけを行い、コンクール実施・作品募集の周知を行うことが必要であると考えられる。

(9) 視聴覚いしかわ(会報)

石川県視聴覚教育協議会の事業として、会報第11号を発行。

発行日・号数	巻頭言	巻頭言執筆者
3月27日(金) 第11号	利用者を惹きつけるWebデザイン	金沢学院大学美術文化学部 教授 棒田 邦夫

(10) 自主サークル

サークル名	活動内容
生涯学習センタービデオクラブ(SVC)	毎月第2土曜日(13:00~16:30)月例会(作品鑑賞等)

生涯学習センター能登分室

1 講座事業

(1) いしかわを知る講座

趣 旨

石川の歴史、文化、自然、産業等について、より深く学ぶことで郷土に対する理解と愛着を深める。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	6月5日(木) 13:30~15:30	『伊能忠敬測量隊、能登を測る』	伊能忠敬研究会 理事 河崎 倫代	43人
2	6月19日(木) 13:30~15:30	『白山の魅力~白山の動植物~』	白山自然保護センター 所長 梅 典雅	21人
3	7月22日(火) 13:30~15:30	『関ヶ原合戦前後における前田利政の動静』	金沢学院大学 教授 見瀬 和雄	26人
4	8月28日(木) 13:30~15:30	『鵜捕部の里について』	七尾市文化課 課長補佐 和田 学	28人
5	9月18日(木) 13:30~15:30	『のと鉄道と北陸新幹線』	のと鉄道(株)代表取締役社長 山下 孝明	17人
6	10月29日(水) 13:30~15:30	『石川の四季のさかな』	水産総合センター企画普及部長 福嶋 稔	17人
合 計				152人

事業の評価(成果・課題)

能登の歴史、民俗に関する講座は人気が高く、一つは定員を超え、他は定員に満たないが受講者総数はほぼ前年並み。能登校の主要講座の一つであり、魅力ある内容の選定や広報活動に一層工夫したい。

(2) 能登文化講座

趣 旨

能登地域住民の多様な学習ニーズに応え、著名な講師による高い専門的講話と人生体験について学習の場を提供し、能登の人々に元気を与える。併せて能登空港の賑わい創出を図る。

対象・定員

一般 150名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	7月5日(土) 13:30~15:00	今日を大切に	女優 正司 花江	290人

事業の評価(成果・課題)

少女歌手の座長をはじめ、実の姉妹で組んだ漫才トリオ「かしまし娘」の三女として全国巡業した永い芸人人生の中での哀歓・生き甲斐等について、多くのユーモアを交え講演。披露した数曲の歌声は張りがあり驚かされた。終始笑いに包まれ、奥深い話に満員の会場は魅了された。

(3) 古文書手習い塾

趣 旨

古文書への関心と親しみを深め、「古文書解読講座」の入門編として、古文書解読の基礎を学ぶ。

対象・定員

一般 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	9月3日(水) 13:30~15:30	古文書とは	能登分室 職員 南 龍保	27人
2	9月10日(水) 13:30~15:30	古文書に親しむ	"	31人
2	9月17日(水) 13:30~15:30	広がる古文書の世界	能登分室 職員 左古 隆	28人
2	9月24日(水) 13:30~15:30	古文書を伝える	"	30人
合 計				116人

事業の評価(成果・課題)

人気のある講座で開催を1回増やし、従来の「古文書解読基礎講座」から名称を変更した。また実態と要望に応え全くの初心者にも判り易く取組める内容に見直し、開講時間を日中に変更した。

(4) 古文書解読講座

趣 旨

地域史の調査や研究に必要な古文書の解読に関する知識と技能の習得を目指す。

対象・定員

一般 30名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	10月1日(水) 13:30~15:30	古文書の解読	加能地域史研究会 代表 木越 祐馨	30人
2	10月8日(水) 13:30~15:30	"	門前郷土史研究会 会長 大倉 克男	27人
3	10月15日(水) 13:30~15:30	"	"	29人
4	10月22日(水) 13:30~15:30	"	加能地域史研究会 代表 木越 祐馨	24人
合 計				110人

事業の評価(成果・課題)

手習い塾に引続き受講する方が多い。レベルが高く熟練した講師陣による講義は、積極的な受講態度の方が多く評価が高かった。年齢層の高い受講者が多いことから、開講時間を日中に変更した。

(5) 能登陶芸教室

趣 旨

ろくろによる成形・釉薬・焼成などの陶芸体験を通じて、もの作りの喜びを実感するとともに、技術の向上と豊かな生きがいを目指す。

対象・定員

一般 15名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	6月24日(火) 13:30~16:30	成 形	珠洲焼作家 伏見窯 坂本 一郎	12人
2	6月25日(水) 13:30~16:30	"	"	14人
3	7月 8日(火) 13:30~16:30	素 焼	"	14人
4	7月17日(木) 13:30~16:30	釉 薬 ・ 焼 成	"	14人
5	7月25日(金) 13:30~16:30	鑑賞会	"	13人
合 計				67人

事業の評価(成果・課題)

人気講座で永年受講している人が多く、また創作意欲も高く、講師の丁寧な指導を受け技術レベルが向上し優れた作品を仕上げた人が多い。

(6) あすなる悠々塾in能登

趣 旨

「知の循環型社会」を構築する観点から、一般の方を対象に、生涯学習活動などを通して学んだ成果を講座の講師として講義する機会を提供し、社会に生かされることを目指す。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	5月27日(火) 13:30~15:00	『能登守・加賀守の歴史について』	後藤 朗	28人
2	6月12日(木) 13:30~15:00	『藩政期能登における海難考』	南 龍保	38人
3	7月10日(木) 13:30~15:00	『能登観光ガイドよもやま話』	塩土 修	32人
4	9月2日(火) 13:30~15:00	『自分をよりよく知って、人と上手く付き合おう!』	塚本 茂樹	19人
5	10月2日(木) 13:30~15:00	『和歌の鑑賞~万葉、古今、新古今~』	隅 良彦	16人
6	11月5日(水) 13:30~15:00	『定年後テーマと東海道五十三次! ~ウォーキングのすすめ~』	植茶 泰男	24人
合 計				157人

事業の評価(成果・課題)

講師は皆熱心に講義され、内容も大変好評でした。能登地域在住の講師が半数しか手当できず、新たな講師の発掘が課題である。

(7) 能登特別映画会

趣 旨

名作映画を上映し、シニア世代を中心として生涯学習の機会を提供する。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	7月15日(火) 13:30～15:30	父ありき	41人
2	10月7日(火) 13:30～15:30	郡上一揆	28人
3	10月23日(木) 13:30～15:30	お茶漬けの味	11人
4	11月13日(木) 13:30～15:30	人間の翼～最後のキャッチボール～	8人
合 計			88人

事業の評価(成果・課題)

能登地域には映画館が無くなり、シニア世代には懐かしい映画鑑賞の機会として好評でした。ただ上映作品は全て当センター視聴覚ライブラリーから選ぶので、劣化して上映に不具合なフィルムが増えている。

(8) ビデオ教養講座(いしかわの文化を訪ねる)

趣 旨

映像をとおしてふるさと石川の歴史や文化等について学習し、郷土への理解と愛着を深める。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	6月3日(火) 13:30～15:30	学農 村松標左衛門 幕末に生きる 小川直子 海からの贈り物 ～塩の一大生産地・能登半島～ 大伴家持～万葉集 越中守 能登～	11人
2	6月26日(木) 13:30～15:30	望郷の歌 加能作次郎 加賀藩農業の先駆者 土屋又三郎 珪藻土 ～能登・大地の恵み～ 寺島蔵人～改革を叫び続けた生涯～	8人
3	8月1日(金) 13:30～15:30	機巧から科学 大野弁吉 書に捧ぐ 北方心泉 時代を映す鏡瓦 ～1400年の時を超えて～ 畠山満慶～七尾に息づく畠山文化～	11人
4	9月11日(木) 13:30～15:30	相撲道 阿武松緑之助 夢・北陸の宝塚 平沢嘉太郎 くじら ～海からの訪問者～ 長連龍～僧と武将を繰り返した長家中興の祖～	13人
5	10月17日(金) 13:30～15:30	沈金に生きる 天野わか の 雄弁の政治家 永井柳太郎 和紙 ～紙すきの里を訪ねて～ 平時忠～能登に流された平家の実力者～	12人
6	11月20日(木) 13:30～15:30	明治憲法とともに 尾佐竹猛 北陸自由民権の軌跡 小間肅 輪島 素麺 宝達くず～先人たちを支えた食～ 前田齊泰・慶寧～激動を見届ける～	10人
合 計			65人

事業の評価(成果・課題)

映像により故郷の歴史等を簡単に学べる貴重な講座で、今年度から興味喚起と理解の助として毎回、人物に関する解説資料を配付したのが好評であった。秀作が多く、沢山の県民に故郷を知ってもらうためにも参加者を増やしたい。

(9) 夏休み子ども特別映画会

趣 旨

子ども向けの名作映画やビデオを鑑賞することにより、子どもたちの豊かな情操の育成を図る。

対象・定員

子ども・保護者 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	7月26日(土) 13:30~15:30	ドラえもん のび太のドラビアンナイト ハローキティのシンデレラ	60人
2	8月9日(土) 13:30~15:30	ドラえもん のび太と雲の王国 ハローキティのおやゆびひめ	46人
合 計			106人

事業の評価(成果・課題)

映画館の無い能登地区の子どもたちが、大画面で人気キャラクターの漫画を楽しんだ。次回も開催日が夏休み中の他の行事と重複しないよう日程を考慮し、魅力ある作品を提供したい。

(10) 夏休み子ども陶芸教室

趣 旨

粘土で形を造り、色を付けて焼き上げ、世界に一つしかない作品を手作りする体験をおして、ものづくりの喜びを実感し、豊かな心を育む。

対象・定員

小学生・中学生 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	7月19日(土) 13:30~16:30	成形・素焼	石川県立飯田高等学校 教諭 井上 正浩	18人
2	8月7日(木) 13:30~16:30	釉薬・焼成	〃	15人
3	8月22日(金) 13:30~16:30	鑑賞会	〃	16人
合 計				49人

事業の評価(成果・課題)

講師の熱心・丁寧な指導で、子どもの創作意欲を上手に引き出していた。受講者は一生懸命に取り組み、中には保護者と共同作業する和やかな場面も見られた。

(11) 夏休み子ども科学教室

趣 旨

小学生が身近な科学の実験・工作を行う中で、隠れた面白さや不思議さに触れ、科学への興味・関心を高める契機とする。

対象・定員

4年生以上の小学生 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	7月29日(火) 13:30~15:30	インスタント押し花と海藻押し花	能登分室 職員 坂尻 忠秀	9人
2	8月5日(火) 13:30~15:30	天体のお話と惑星模型の作製	〃	14人
3	8月20日(水) 13:30~15:30	身近な科学実験	〃	10人
合 計				33人

事業の評価(成果・課題)

参加した子どもたちは、目を輝かせ実験・工作に取り組み、「楽しかった」「不思議や」「びっくりした」等好評を得た。

2 他の機関・団体との共催講座

(1) 大人の料理教室

趣 旨

地元でとれた旬の食材を使った調理を通して食文化を理解し食生活を見直して、健康で豊かな食生活を送る。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般 15名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室(調理実習室)

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	9月27日(土) 10:00～13:00	秋の食材を使った手軽なメニュー	地域活動栄養士 沖崎 美子	10人

事業の評価(成果・課題)

身近な鮭や栗や薩摩芋等の秋の食材を使った様々な料理を楽しい雰囲気調理・試食した。調理法や味付けについて、栄養面や健康面で参考になったと好評だった。

(2) 男の料理教室

趣 旨

男性が一人でも自宅で簡単にできる一品料理の作り方を学ぶ実用的な講座。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般男性 15名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室(調理室)

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	6月21日(土) 10:00～13:00	手軽にできる男の料理	中浦 数枝	14人

事業の評価(成果・課題)

独居老人や共稼ぎ、単身赴任の世帯が増える中、安全で操作の簡単な電子レンジを使った肉・野菜料理の実習は、美味しいおかずが一人でも作れると好評でした。

(3) サンドブラスト体験教室

趣 旨

能登空港マスコットキャラクター「スカイのっぴー」と月毎に替わる季節の図柄をガラス(コップ)に彫刻し、簡易に物作りの喜びを実感し、併せて能登空港に親しむ。

主 催

能登空港賑わい創出実行委員会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

一般 各50名

会 場

能登空港 能登の旅情報センター前

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	4月13日(日)	お花見のっぴー	100人
2	5月11日(日)	のっぴーと鯉のぼり	160人
3	6月 8日(日)	のっぴーと雨宿り	160人
4	7月13日(日)	のっぴーと天の川	130人
5	8月10日(日)	のっぴーと海水浴	160人
6	9月14日(日)	お月見のっぴー	160人
7	10月12日(日)	のっぴー空の運動会	540人
8	11月 9日(日)	のっぴーモミジ狩り	190人
9	12月14日(日)	のっぴーサンタ	100人
10	12月23日(火)	12ヶ月自由図柄	250人
11	1月11日(日)	のっぴーのお正月	120人
12	2月 8日(日)	のっぴーと雪だるま	120人
13	3月 8日(日)	のっぴーのひな祭り	144人
合 計			2,334人

実施日、毎月第2日曜日、12/23 クリスマスイベント開催日。
時間帯は午前：10時～12時 午後：1時～3時

事業の評価(成果・課題)

大変人気があり、毎回定員を超えている。家族揃っての参加が多く、その大部分は年間とおしての作品づくりを目指すリピーターである。また旅行者の参加も多くみられ、のと里山空港の賑わいと活性化に大きく寄与している。

3 能登分室利用状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
件数	24	23	37	66	63	72	66	50	64	62	33	44	59	639	
	25	36	57	58	81	76	64	75	79	67	43	49	40	725	
	26	29	51	53	75	75	54	62	55	34	40	44	40	612	
人数	24	438	1,062	1,907	2,255	2,415	1,296	1,463	2,138	2,269	713	1,387	1,675	19,018	
	25	1,014	1,521	1,217	2,312	2,295	1,566	2,702	2,252	2,773	804	1,188	1,057	20,701	
	26	752	1,566	1,452	2,207	2,093	1,338	2,115	1,366	2,238	735	1,103	1,043	18,008	
1日平均	件数	24	0.8	1.2	2.2	2.0	2.3	2.2	1.6	2.1	2.2	1.2	1.6	1.9	1.8
		25	1.2	1.8	1.9	2.6	2.5	2.1	2.4	2.6	2.4	1.5	1.8	1.3	2.0
		26	1.0	1.6	1.8	2.4	2.4	1.8	2.0	1.8	1.2	1.4	1.5	1.3	1.7
	人数	24	14.6	34.3	63.6	72.7	77.9	43.2	47.2	71.3	81.0	25.5	49.5	54.0	53.0
		25	33.8	49.1	40.6	74.6	74.0	52.2	87.2	75.1	99.0	28.7	42.4	34.1	57.7
		26	25.1	50.5	48.4	71.2	67.5	44.6	68.2	45.5	79.9	26.3	39.4	33.6	50.2

・平成15年5月6日開設。

・H27年3月までの利用状況(開館日数 359日)

・利用件数 612件 対前年比 ▲15.6% (H26 725件)

・利用人数 18,008人 対前年比 ▲13.0% (H26 20,701人)

調査研究レポート（1）

「社会教育主事有資格者の活動実態に関する調査研究」（仮）について

1 はじめに

当センターは、金沢大学社会教育研究振興会及び同大学地域連携推進センターとともに、社会教育・生涯学習のよりよい推進を図るため、調査研究事業を実施している。平成26年度から2年間をかけて、社会教育・生涯学習の核となるべき社会教育主事有資格者の活動実態について調査研究を進めることとし、平成27年度中の報告書発刊を計画している。

2 概要

(1) テーマ

社会教育主事有資格者の活動実態に関する調査研究（仮）

(2) 目的

社会教育主事有資格者の活動実態について調査し、地域における教育活動を総合的に推進するために求められる社会教育主事有資格者の新たな役割や方策を検討することを目的とする。

(3) 調査対象

県・市町において社会教育主事として発令を受けた者（県内の公立小中学校、県立学校、特別支援学校に勤務する教員及び県・市町の委員会に勤務する教員籍の職員、県・市町の行政職員など）

(4) 調査方法

社会教育主事資格取得者一覧表等から職員の勤務地等を調査し、郵送等によるアンケート調査を実施する。

(5) 調査期間

調査期間を（平成26～27年度）の2年間とする。

(6) 調査項目

検討中

(7) 調査計画

送付先調査・調査項目検討 平成26年11月～平成27年3月

以下については、平成27年度に入ってから検討することとした。

調査実施、調査分析、報告書作成、発行

3 おわりに

近年、社会教育主事は、各地域の社会教育・生涯学習のコーディネーター、地域コミュニティの核、学校・家庭・地域の連携協力のパイプ役の3つの役割についてその重要性が一層増している。学校や地域、行政機関など様々な場所で働く社会教育主事有資格者の実態を把握し、社会教育主事の新たな役割、有効的な活躍・活用などについて提言し、生涯学習・社会教育の世界での一層の活躍のみならず、各地方の学校・家庭・地域の連携協力、また地域における教育活動全般を総合的に推進するための一助となるよう計画を進めていきたい。

Ⅲ 調査研究レポート (2)

2年目を迎えた「ふるさとモット学び塾」～深い「いしかわの魅力」の再発見～

1 はじめに

平成2年中教審答申「生涯学習の基盤整備について」で謳われている「地域の実情に応じて、必要な講座等を主催する」という生涯学習センターの役割を踏まえ、当センターでは、子どもから大人までの幅広い世代の県民が、ふるさと石川に対する愛着と誇りを深められるよう、石川に関する文化、歴史、自然等について、その道の専門家から直接学ぶことができる講座として、平成25年度「ふるさとモット学び塾」を開講した。

ここでは、2年目となる「ふるさとモット学び塾」実施の結果について報告する。

2 「ふるさとモット学び塾」の概要

本県では平成23年に教育施策の推進を図るため、「石川の教育振興基本計画」を策定した。その基本計画の一つに「学びの気運に満ちた生涯学習社会づくり」を掲げ、県民が心豊かに生きるための学習機会の充実等を推進していくこととしている。本講座を通して、県民に、ふるさと石川への興味・関心を高め、石川への愛着と誇りを、より一層、深めていただきたいと願っている。

「ふるさとモット学び塾」は、「ふるさとふれあい講座 本多の森会場」、「ふるさとふれあい講座 現地コース」、「ふるさと発見出前講座」の3つのコースから成っている。次に、それぞれについて詳しく述べてみたい。

3 ふるさとふれあい講座「本多の森会場」 *講座内容等は本冊子11ページ参照

「ふるさとモット学び塾 本多の森会場」は、石川県立生涯学習センター（石川県本多の森庁舎）を会場にした講座である。好評をいただき、講座の存在も周知されてきたので、定員を100名から130名に増やした。実施回数は前年度同様10回（うち4回は土日開催）とした。

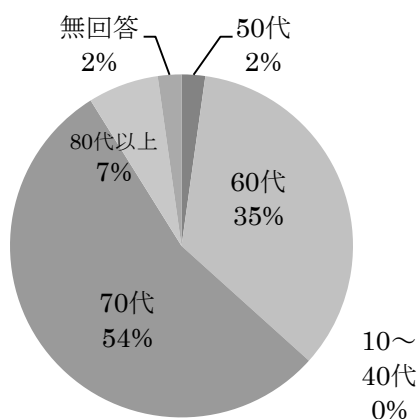
講師は、受講者からも関心が深いテーマである「前田家」の第18代当主である前田利祐氏を皮切りに、10名の講師陣による石川の文化・歴史・自然等をテーマとした講座を開催した。10回全ての講座を受講された方は15名（前年度10名）で、閉講式で「修了証書」をお渡しした。

受講者からは、「他ではなかなか聞けない話が聞ける」、「講師が充実している」、「毎回趣向をこらした内容」、「従前の講座に比べて中味が濃く充実した時間がもてた」との感想をいただき、どの講師もこれまでの研究やお仕事等の経験から得られた成果を惜しみなく、熱心に語ってくださり、この講師陣のお蔭で充実した講座となった。

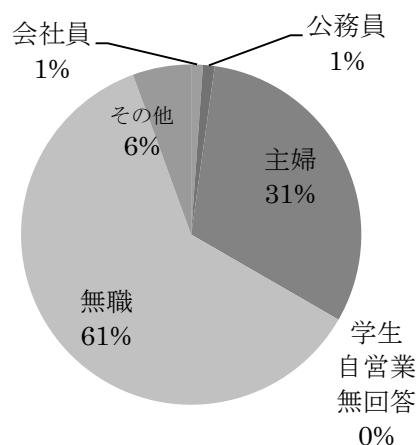
(1) アンケート結果より

最終回（第10回）にアンケートを実施した。参加者115名のうち90名の回答があった。（以下、次ページのグラフ参照）

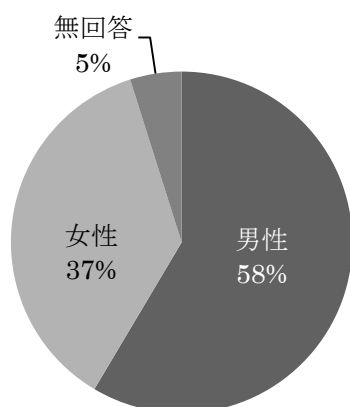
①受講者の年代は、60代と70代を合わせた割合が89%（前年度88%：以下同様）となった。②受講者の職業は無職61%（59%）、主婦31%（26%）、両方で92%（85%）となった。アンケート実施日が金曜日（前年度も）であり、このような結果となったと思われる。講座は金曜日が6回、土・日曜日が4回、いずれも13時30分から開催したが、土・日曜日には、本アンケートの結果よりも若い世代の参加者の姿が見られた。土日開催ができれば、仕事を持つ方や学生も参加できるようになる。講演のテーマ・分野や講師の選定（講師の得意とする専門分野や活躍の場）により、アピールできる年齢層は異なってくる。現状のままでは是とするのではなく、より幅広い年齢層の参加者を呼び込む方法にも注意を向けていきたい。



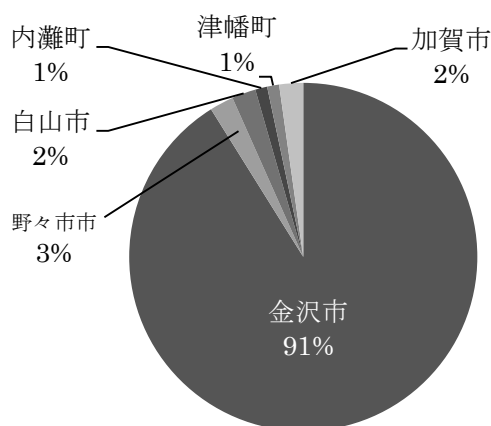
①年代



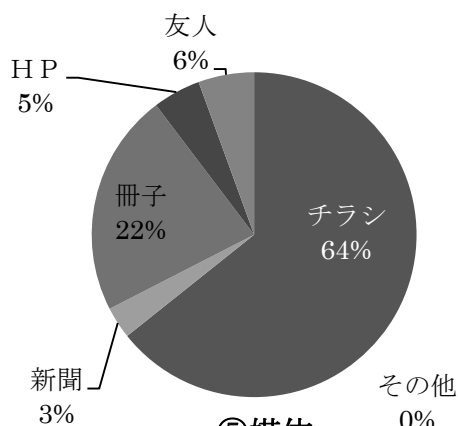
②職業



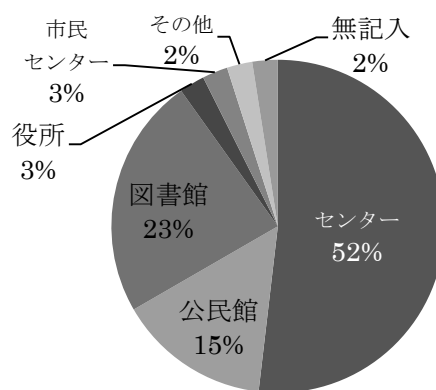
③性別



④住所



⑤媒体



⑥チラシ入手場所

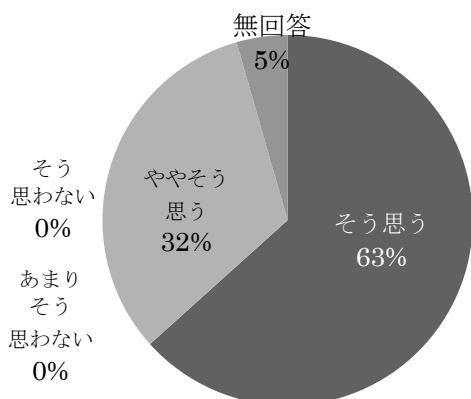
③男女の比率は、前年度とほぼ同数だったが、やや男性の比率が多かった。

④受講者の住所は、金沢市が91%（90%）となった。当センターは金沢市中心部に位置していることから、このような結果となったと思われる。全10回の中では小松市、加賀市、能美市、輪島市の遠方からの参加者があった。

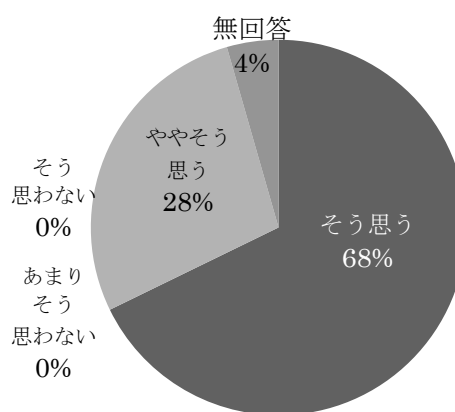
⑤本講座を知った媒体については、チラシ64%（65%）、石川県民大学校受講案内冊子22%（19%）、当センターのホームページ5%（6%）等、当センターの発行・発信するメディアが91%（90%）を占めた。⑥チラシの入手場所については、当センター52%（63%）が最も多かったが、センター以外の割合が前年度に比べ増えた。次年度も、当センターに来館したことのない方への広報を進めていきたい。

講座内容について、アンケートの中で以下の①～⑤の5つの質問をした。

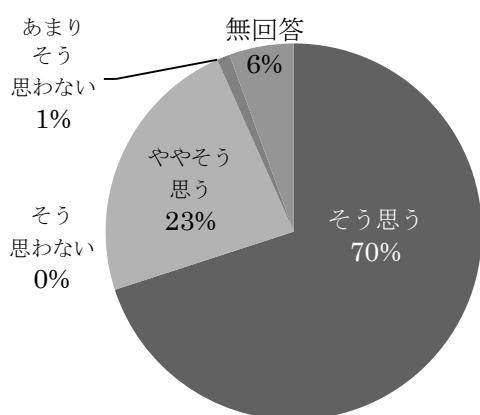
- ①今年度の講座について、ご満足いただけましたか。
- ②石川の文化、歴史、自然等について、興味・関心が高まりましたか。
- ③石川の文化、歴史、自然等についての知識を深めることができましたか。
- ④ふるさと石川への愛着や誇りを深めることができましたか。
- ⑤石川の文化、歴史、自然等の魅力を他の人に伝えたいという気持ちやおもてなしの心が高まりましたか。



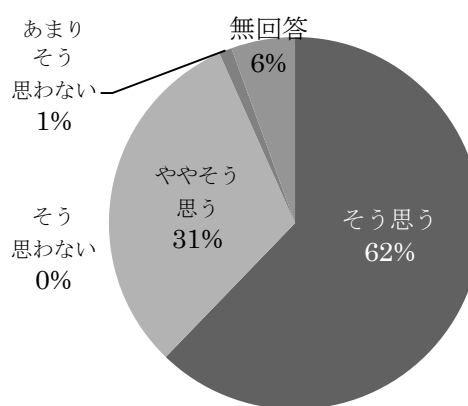
①満足度



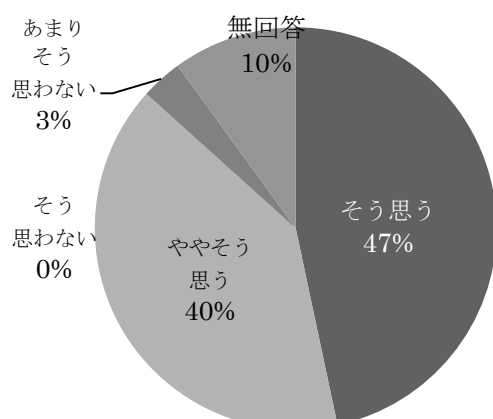
②興味・関心



③知識



④愛着・誇り



⑤おもてなしの心



①～③の質問に対する「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、①満足度 95% (87%)・②興味・関心度 96% (92%)・③知識の深まり 93% (92%)と高い評価を受けており、どれも前年度を1～8ポイント上回ることができ、講座の内容が受講者の期待に応えるものであったことが分かる。

本講座の目的である「ふるさと石川に対する愛着と誇りを深めていただく」という点については、④愛着・誇りの深まり93%（92%）、⑤おもてなしの心の高まり87%（84%）という評価であった。北陸新幹線金沢開通を目前にし、受講者の「知識や興味・関心、愛着・誇り」の高まり・深まりが、「伝えたいという気持ちやおもてなしの心」へ、更に「伝える」ことへとつながっていくことを期待したい。

(2) アンケート自由記述より

①次世代に伝えたい

受講者アンケートの自由記述欄には次のような意見・感想が寄せられた。

- ・これからも、もっと「ふるさと」について学んで孫等にも伝えていきたいと思いました。
- ・小学校から高校で、このような講座を実施できれば、もっと石川への愛着や誇りを持てる若者が増えるのではないのでしょうか。
- ・中学、高校では近世、幕末、明治についてはあまり詳しく勉強していなかった。この講座では多くの県人講師のお話を聞け良かった。現在の授業では、この講座の講師のようなお話を聞いたり勉強しているのでしょうか？ 中学・高校でもこのような講演をしていただいたら良いと思いました。

様々な分野で活躍される講師からのお話を聞いて、これを次の世代に伝えたい、また若い世代にこそ、今日の講義を聞いてほしかったとの気持ちが見て取れる。「ふるさと発見出前講座」でも、小中学校でのふるさと学習を支援しているところであり、学校教育の現場では、ふるさと石川や地域についての学びが進められているようである。それと併せて、このように1つの学びを終えられた受講者が周りの人達や下の世代に自分の得た学びの成果（知識や興味・関心、ふるさとへの愛着等）を伝えることにより、次の学びが生み出されていくという場があることを思い、この講座を契機に学びの輪が広がっていくことを期待したい。

②新たな興味

- ・民謡にはあまり興味がなかったのですが、紹介いただいた民謡の発表会を見に行き、非常に感心しました。（「加賀・能登の民謡にふれる」について）

このご意見のように、本講座を契機に、新たな興味・関心が引き起こされた方もおられた。知識ばかりでなく、受講者の気持ちにも変容をもたらした講座も見られた。

③経験を通した学び

- 「加賀・能登の民謡にふれる」について
 - ・皆で民謡を歌ったのが良かった。
 - ・民謡、百万石音頭の練習はとても良かった。何度もそれとなく聞いてはいましたが、はっきり自分の歌える曲とすることができ、感謝しています。
- 「金沢のお茶屋文化」について
 - ・芸妓さんの踊りや太鼓に感動した。
 - ・「タイコ」をたたく事ができ、良かった。
 - ・芸妓さんの実演が良かった。

このように経験を通して学ぶ講座の機会は、今年度初めてのことであった。講義形式のお話を聞くと同時に、「実際に自分で見る、聞く、触れる、やってみる」等といった良い「学び方」のヒントをいただいた。現地コースでは「実際に自分で見る、触れる」機会をもつことができ、より深い学びをしていただいている。本多の森会場でも、今後、講師と相談の上、このような方法を取り入れ、より深い学び、興味・関心や気持ちの変容を起こすような深い学びを引き起こすものとする工夫をしていきたい。

4 ふるさとふれあい講座「現地コース」 *講座内容等は本冊子12ページ参照 石川県内各地の景勝地、史跡等を訪ね、石川の歴史や文化、自然に触れ、ふるさと石

川の魅力を深めていただくことをねらいとする講座である。貴重な文化遺産等を目にしながらか、専門の講師から直接、歴史や文化について奥深い解説を聴くことができた。訪問先は①高岡・津幡、②山中・小松、③七尾・中能登、④大聖寺・山代、⑤羽咋・七尾の5か所で、3回を土曜日（前年度は土曜2回、日曜1回）に実施した。

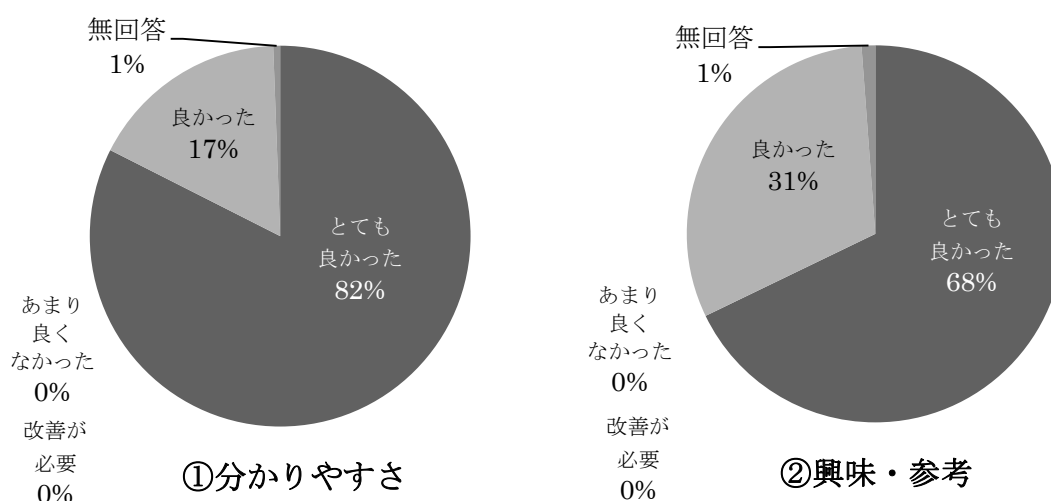
前年度の反省から、天候不順の時期や寒さ・日没時間等のことを考え、実施時期・終了時刻（午後5時とした）を見直した。前年度の（9・10月各1回、11月2回、12月1回）を（9・10月各2回、11月1回）と変更したところ、全ての回が天気に恵まれ、欠席者も1名のみ（前年度26名）であった。

(1) アンケート結果より

現地コースの各回毎にアンケートを実施した。第1回から第5回の参加者174名のうち171名の回答があった。

受講者の年代、職業、男女比率、住所、本講座を知った媒体、チラシの入手場所については、前述した「本多の森会場」のアンケート結果とほとんど同じであったので、ここでは詳しい記述は避ける。ただし、参加者について、珠洲市、七尾市、中能都町、能美市、小松市、加賀市からの参加者が計11名あったことを付け加えておきたい。

講座内容について、①「講師の話し方は分かりやすかったですか。」、②「興味が持て、参考になる内容でしたか。」の2つの質問をした。



①お話の分かりやすさについては、回答のうち「とても良かった」と「良かった」を合わせた割合は99.5%（前年度97.9%：以下同様）、②興味・参考については98.8%（97.2%）と非常に高い評価であった。講師が訪問先決定までの打合せや交渉、講義内容や資料の細かな準備をしてくださり、また現地での素晴らしい建築や貴重な品々を前に詳しく分かりやすい解説をしてくださったことに、深く感謝するものである。

(2) アンケート自由記述より

①素晴らしい講師陣

講座の感想や意見の自由記述欄では、次のよう意見を多くいただいた。

- ・講師の知識が豊富、講師の先生の熱意に感謝です。
- ・豊裕な知識をおしむことなく分かりやすく解説していただきました。
- ・資料がとても詳しく分かりやすくてよかった。復習もしたい。
- ・素晴らしかったの一言です。

講師のご準備・当日のご努力により、充実した講座となったとの感想を数多くいただいた。

②現地訪問の意味

現地訪問型の講座ならではの感想として次のようなご意見をいただいた。

- ・ 普段見られない物が見られ大変ためになりました。
- ・ 訪れた場所もあったが、先生の説明で歴史が透けてみえる感じでとてもよかった。
- ・ 個人で来てもこんなに詳しく説明がないので、よく理解でき有難かった。
- ・ 今回のチャンスがなかったら、自分では訪れることもできなかった
- ・ 個人ではなかなか来られない所を回れて良かった
- ・ («芭蕉が歩いた加賀路を訪ねて»で山中節を聴かせていただいて) 唄が良かった。

「どこへ行って学ぶのがよいか」が分からない方には「どこに何があるのか=素晴らしいものの在り処」を、「行っても何をどう見ればよいか」が分からない方には「その場所にあるものの見方や価値」を、「行きたくても1人ではなかなか行けない」方には「訪問の機会」を、講師の高い見識と本講座によって提供できたことがお分かりいただけると思う。

③新しい発見

知る喜び、意識・関心の喚起・変容についての感想に、次のようなものがあった。

- ・ 地元にいるのに知識がなかったのですが、非常に参考になりました。
 - ・ 知っているつもりでいましたが、実際に講座を聞き、見学をして新しい発見があり、奥が深いことを実感しました。
 - ・ 知らない事がとても多くてびっくりした。
 - ・ 新たな発見をし、興味深かった。
 - ・ それまでの知識がいかに貧弱なものであったかを知りました。
- 「古代能登の王墓と寺跡を訪ねて」について
- ・ 能登地方に多くの古墳があることを初めて知りました。
- 「九谷焼発祥の街を訪ねて」について
- ・ 九谷焼の作品の見方が、今後変わるような気がします。

直接見て、触れることを通してしか味わうことのできない、分かりやすさ、良さを指摘していただいた。

④人に伝えたい

次のような感想もいただいた。

- 「九谷焼発祥の街を訪ねて」について
- ・ 九谷焼の器を古臭いと思ったりしないで、ふだん使いにして利用しながら大切に子供世代に受け継いでいきたいと思いました
 - ・ 九谷焼について人に説明できるくらい分かった。

「受け継いでいきたい」、「誰かに知らせたい」という次の行動への心の動きが見て取れる。本講座がこのような気持ちを生み出すものとなれば、幸いである。

⑤定員について

前年度より「定員が少なく、抽選に当選しない」というご意見を多くいただいている。受講希望者の理解は得にくいのが、回数を増やすことは予算上の問題で、講座人数を増やすことは運営上（お話の聞き易さや安全面、バス・施設の定員等）の問題で難しい。ただし、これらの問題が解決される場合には、若干でも回数や人数を増やす努力をしていきたい。次のように、適切な人数であるとのご意見もいただいている。

- ・ 30数名ぐらいの参加で話しを聞きやすく、大変良かった。

⑥広報等の工夫

学び方について、「予習や復習のための参考書を示してほしい」という意見があった。現在リーフレットには、演題と講師名と肩書、訪問先が記載されているのみである。本多の森会場にも言えることであるが、学ぶ前に見るこのリーフレットに、講師紹介やコメント、講義内容、参考文献（予復習の参考書）、訪問先の情報等を載せることは、

深く学びたい方への良い助けにもなることだろう。受講者の興味を引き付けるための広報としても有効であり、スペースの問題もあるが、よい方法を検討していきたい。

⑦その他

アンケートでは運営面について細かなご指摘をいただき、改善点を多く示され、次の回の運営のために生かすことができた。

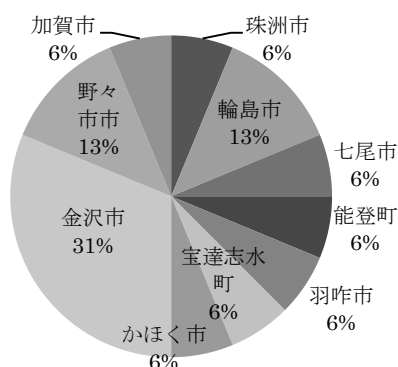
5 ふるさと発見出前講座 *講座内容等は本冊子13・14ページ参照

会場を県内各地の公民館・小中学校に移した出前講座で、石川について各公民館・学校が独自に選んだテーマに応じた専門の講師を派遣した。小中学校15件は前年同様、公民館は10件増やし20件とした。公民館については16施設（15公民館・1教育委員会）18件の応募があり、実施不可としたところはなかったが、事情により講座を実施できなかった公民館が1件あった。小中学校については、15校17件の募集があり、2つの希望を出していた2校のうち、それぞれ1件を実施不可とした。

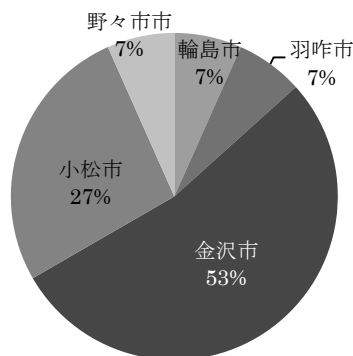
取り上げられた主なテーマには、加賀百万石と前田家、前田利家と能登、能登の海難、加賀一向一揆、身近な地域の歴史、和紙、雪遊び、石川食のブランド化、里山里海の保全・世界農業遺産、石川の生き物、加賀野菜、和太鼓、輪島塗、九谷焼、金沢の三文豪等がある。各地域に密着したテーマが多く、地域の子ども達を教える先生、地域の学びのニーズを知る公民館職員の求めに細かく対応することができた。

(1) 実施報告書結果より

講座実施後、全ての施設から提出があった。

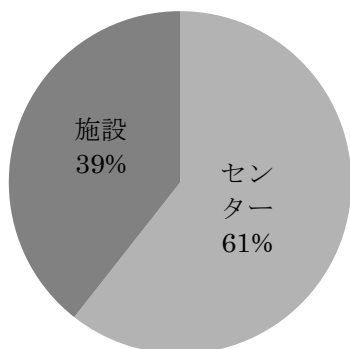


①開催地（公民館）



②開催地（小中学校）

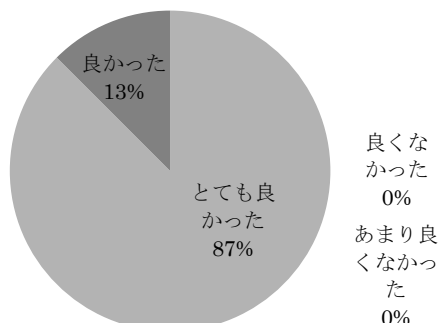
開催地を見ると、金沢市以外が①公民館69%（前年度90%：以下同様）、②小中学校47%（同%）となった。公民館では地域的な偏りも少なく10市町からの応募があった。小中学校では金沢市が53%と多くを占め、また5市町からしか応募がなかったが、前年度は実施の無かった能登での開催が1件あり、よかった。今後も公民館・小中学校に広く「出前講座」を知っていただけるよう、積極的な広報が必要である。



③講師選定（公民館と学校）



③講師の選定については、センターで選定したものが61%、各施設が独自に選定したものが39%であった。独自選定は公民館61%、小中学校13%と差が出た。「総合的な学習」の中で利用された学校が多かったが、「こんなお話が開きたいが、良い講師がなかなか見つからない」というところが多いことが伺える。また、講師選定の際に石川県立伝統産業工芸館に多大なご援助をいただいた。この場を借りて感謝申し上げたい。



④講師（公民館と学校）

④講師については、「とても良かった」と「良かった」を合わせた割合は100%（96%）と非常に高い評価であった。前年度に引き続き講師をしていただいた方もおられ、これまでの講師経験の有無や対象年齢に合わせたお話ができる講師等を考慮して講師を選定することができ、このような評価をいただいたものと思われる。

(2) 実施報告書アンケート自由記述より

①講座の在り方

公民館からは、講座の在り方について、次のような意見をいただいた。

- ・多方面からふるさとを学ぶ講座を実施したい。その際、出前講座を活用させていただきたい。
- ・次年度もこのテーマでこの町の歴史を深めてもらいたい。

公民館では、様々なテーマを設定して学習しているところがある一方、続けて同じテーマを掘り下げていくところがある。ホームページには、過去の講座と講師の一覧を参照できるようにしているので、講座を企画される際に、他公民館がどのような学習をしているか是非参考にさせていただきたい。

- ・ふるさと発見出前講座は、公民館事業として活用しやすく、また専門の講師をお呼びできることで、参加者の皆様にも大変好評をいただいている事業です。
- ・参加者が少ない事業で困っていましたが、今年は参加者が多く、それぞれ楽しんでくれたことでスタッフも満足した事業となりました。

今後も利用しやすく受講者に喜んでいただける講座の在り方を公民館とその利用者からの声によく耳を傾けながら模索していきたい。

②講師による講座の工夫

小中学校からは、講座内容について、以下のような意見をいただいた。

- ・詳しい発表をしていただいていた有難かった。講座終了後も講師に質問に行く児童が何人も見られ、子どもたちの関心を喚起していただけたのが分かった。
- ・本物の加賀野菜を見せていただいたり、一般の野菜と加賀野菜との違いを教えていただいたりと、学習への意欲づけや動機づけとなった。
- ・伝統工芸品を作り上げるための数々の作業工程を展示して下さった事がとても良かった。実物を手に取って知る事の効果は大きい。学習意欲が盛り上がった。
- ・太鼓を集めるのはなかなか大変だったが、子どもたちもたくさん打つことがで

きて楽しそうだった。

- ・体験というのは、子どもにとっては、大変貴重なことで有難く思いました。

お話だけではなく、様々な物を授業の場に持ち込んでいただき、実技や物を見たり、触ったり、実際にやったりということを通しての学習を提供してくださった講師が多く、良い評価をいただいた。また、次のような意見があった。

- ・先生の話し方、立振舞、すべてが熱心に仕事に取り組む姿をうかがわせ、作品の素晴らしさのみならず、大変勉強になりました。一つの道に精通する苦勞と素晴らしさを感じました。

お仕事への情熱、一生懸命に話される姿や生き様等、素晴らしい講師の存在そのものに直接触れることができた喜びを感想としてくださったものである。「話すことは不慣れです」と仰りながらも、心を込めてご準備いただき、沢山の荷物を手に講座に臨まれていた素晴らしい講師の皆様改めて深く感謝したいと思う。

③地域の大人も共に学ぶ

- ・子どもにとっても、参加された地域の方々にとっても自分達の住んでいる地域について知り、この地域に住んでいることに誇りを持つことができました。

これは学校の開放週間と合わせて、実施いただいた学校からの感想である。保護者や地域の方も共に学ぶ場が設定されていた。意識してこのような機会を設けていただいたことは、企画側としても二重の喜びである。参考にさせていただきたく思う。

④時間の設定

次のような意見もいただいた。(いずれも小中学校)

- ・45分というのは、あまりに短い。可能なら、2時間分あると良かった。
- ・工芸士さんの素晴らしい作品が目前にあったので、お仕事の様子やお気持ちを聞く時間がもう少しあればよかった。

小中学校への出前講座は60分(公民館は90分)を上限としている。講師を招いての特別な授業は、ときに時間が不足することもあり、また、せっかくの機会なので時間を長くした特別時間割の中で学ばせたいという学校もあった。次年度への課題としたい。



6 終わりに

2年目を終えた本事業であるが、いつも受講者の意欲が非常に高いことが感じられる。初めて本講座を受講された方はもちろん、受講2年目となる方からも、「(学べば学ぶほど)知っているようで知らなかったことがあり驚いた」という声を多くいただく。その驚きが「ふるさと石川についてモット学びたい」という新しい意欲を引き起こしていく「学びが新しい学びを生み出していく現象」を見た思いがする。

平成27年は、いよいよ北陸新幹線金沢開業を迎える年である。これまでにない多くの方を海外・県外から迎え、また石川から県外へと出かける機会も多くなるだろう。これまでにない状況を実際に経験した県民からは、新しい学びの要望が上がってくるかもしれない。そのようなニーズを見極め、今後もよりよい学びの場を広く県民の皆様提供していきたいと考えている。

平成 2 6 年度
事業報告書

平成 2 7 年 5 月 2 1 日 発行
編集・発行 石川県立生涯学習センター

〒920-0935

金沢市石引 4 丁目 1 7 番 1 号

石川県本多の森庁舎

TEL 076(223)9571 (代表)

FAX 076(223)9585

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>



PC・スマートフォン用